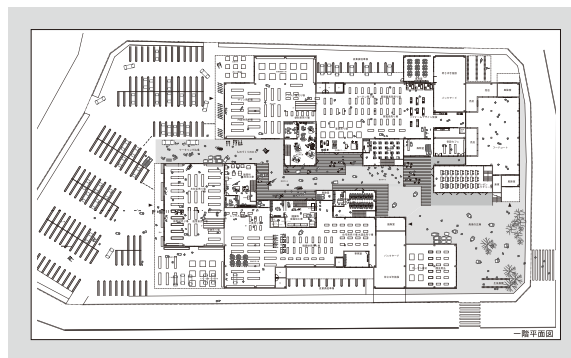


建産連 ニュース

'19/7
No. 161



建産連ニュース・目次

表紙写真

表紙写真 第19回卒業設計コンクール 埼玉県知事賞受賞作品

◆ 巻頭言	
「働き方改革」で思うこと（岡村一巳）	2
◆ 行政情報	
1. 建設業の働き方改革に向けた取組について	3
2. 「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」	5
3. 建設工事の品質確保・向上を目指して	9
4. 埼玉県の空き家対策の取組	16
◆ 県内プロジェクト紹介	
1. 新たな産業団地の整備・産業団地の ICT 土工	19
2. さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップについて	21
3. 「女性職員活躍プロジェクト ～リノベーション賃貸住宅“KOBAYAKO”～」	23
◆ 告知板	
1. 埼玉県総合評価方式活用ガイドラインの改定について	27
◆ 担い手確保・育成コーナー	
1. ものづくり大学卒業生の就職動向について	28
2. 工業高校卒業生の就職動向について	29
3. 第19回卒業設計コンクール展開催	30
4. ワンポイント講座（総合評価方式）	34
5. ワンポイント講座（工事検査）	35
6. 地域連携ネットワークによる県土づくりの担い手確保・育成事業の取組について(平成30年度)	37
7. 講習会のご案内	39
◆ 県内経済の動き	
1. 県内の公共工事等の動き(平成30年度)	40
◆ 会員だより	
1. 会員からのお知らせ	42
2. 総会の結果について	43
3. 連合会日誌	48
◆ 編集後記	48

巻頭言

「働き方改革」で思うこと



一般社団法人埼玉県電業協会
会長 岡村 一 巳

平成から令和になって、基本的には天皇の代替わりにそうなるのですが、改元が今でも続いている日本に感心します。例えば、概ね昭和と平成を半々過ごした私にとっては、経済は右肩上がり物価は上がるものだと思い込んでいた昭和から、バブル崩壊後は物が安くなるのは当たりまえ、GDPは500兆円前後に張りついたままの平成時代と、自分なりに「今ここにいる」と言う、歴史を感じられるのが素晴らしいと思います。西暦では30年ぐらいで時代を総括してみようとは思いません。令和に変わり、安倍総理大臣が言うように「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ時代」が本当に来ればと願います。

建設業の一翼を担う当協会の近々の課題は「働き方改革」、とりわけ休みと時間外労働の法的上限規制の対応かと思えます。このために、私たちは、自助努力によって労働生産性を上げて、付加価値を高めなければならないのはわかります。でも、それだけでは、問題の解決は難しいと思っています。まずは、国をあげてダイレクト入札の最低制限価格を予定価格の100%にし、不落案件が出ないように価格上限拘束を緩和する改革を、決断して頂きたいと思えます。同時に、入札案件で4週8休体制と時間外労働上限規制を守る案件が普通に公告されてくれば、私どもの「働き方改革」への意識も醸成されてくると思えます。

他の業界より低いと言われている賃金水準を改善し、担い手の確保・育成が容易にならなければなりません。少子高齢化が顕著になりつつある時代、社会が電気設備工事業界を必要としなくなるのなら話は別ですが、持続可能な業界になる必要があると思えます。

社会への会員企業それぞれの役割とは、雇用を守り、納税し、価値を創造することだと思えます。これからの地方自治体は、かつての「地元業者育成」と言う声は聞かなくなりましたが、経済的合理性で中央業者に発注するのではなく、社会的合理性で会員企業を含む地元企業に発注願いたいと思えます。私達も地元企業すなわち会員企業となるように、魅力ある協会になることを目指し、地元電気設備工事業界が結束することで更なる力をつけ、地元の皆様に必要な業界になることを願っています。

建設業の働き方改革に向けた取組について

埼玉県県土整備部 建設管理課

建設業は、県民生活の安心・安全の確保や今ある社会資本を後世に引き継ぐために不可欠な産業であり、将来に向け持続的に発展していく必要があります。一方で、本県の建設業就業者数は年々減少しており、年齢別では55歳以上の熟練者が増える中で、29歳以下の若年層が大きく減少しています。このような状況は、他の産業と比べて「労働時間が長い」・「休みが少ない」・「賃金水準が低い」などの労働環境を背景に、若者の入職が進まず、早期離職者が多いことが要因であると考えられています。

建設業がインフラ整備や災害対応の役割を確実に担うためには、「働き方改革」を進め、安心して働ける職場、若者や女性の入職しやすい魅力ある産業となることが大切です。本稿では、建設業の働き方改革を後押しする埼玉県県土整備部の取組を紹介します。

1. 週休2日の促進

①週休2日制モデル工事

建設業における週休2日制の定着に向け、本年度から週休2日制モデル工事に着手します。対象工事の積算においては労務費・機械経費(賃料)・共通仮設費・現場管理費について、国土交通省と同様の補正率により加算計上を行います。発注者指定型と受注者希望型を併用し、県土整備部全体で30件程度発注する予定です。工事中は、28日ごとに休日取得計画書及び休日取得実績書を受発注者で確認し、現場にはPR看板を設置します。

＜モデル工事の概要＞

経 費	発注者指定型	受注者希望型		
	4週8休以上	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
労 務 費	1.05	1.05	1.03	1.01
機械経費(賃料)	1.04	1.04	1.03	1.01
共 通 仮 設 費	1.04	1.04	1.03	1.01
現 場 管 理 費	1.05	1.05	1.04	1.02

● 週休2日の定義

- ・契約工期のうち、現場施工期間において、4週8休以上の現場閉所を行う。
- ・休日は、原則土曜日及び日曜日とするが、別曜日や祝日を充てることも可。
- ・降雨等による予定外の現場閉所日は、休日を含めることが可。
- ・休日作業が生じた場合には、原則として、前後7日以内に振替休日を取得。

● 工期の設定

- ・受発注者の事務処理期間として、14日を上乘せる。

● 経費の補正

● 実施方法

- ・受注者は、28日ごとに、休日取得計画書及び休日取得実績書を提出し、発注者の確認を受ける。
- ・受注者は、現場に、モデル工事であることをPRする掲示図を設置する。
- ・発注者は、現場施工完了後、作業日報等で実績を確認し、必要に応じ精算変更の契約を行う。

②総合評価方式（4週8休）

平成28年7月から、「若年者の入職促進」や「地域の担い手確保」といった特定課題に対応した評価項目をパッケージ化した総合評価方式を試行しています。この中で、「4週8休以上を確保する工程管理を行う」とした場合に加点評価を行っており、平成28年度は7件、平成29年度は14件、平成30年度は5件の工事で実施しました。本年度も引続き取り組みます。

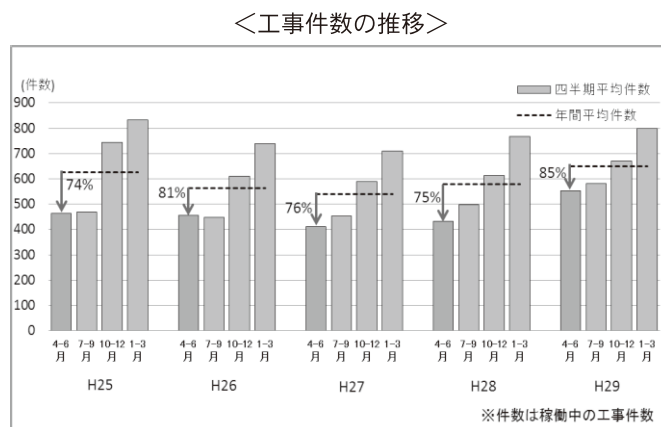
③土曜日一斉休工（ハッピーサタデー）

週休2日に対する「意識の醸成」を図ることを目的に、発注者主導により公共工事の土曜一斉休工に取り組んでいます。祝日と合わせて3連休となり得る土曜日について、平成30年度は7月～11月の5日間で実施し、当部発注工事では各日約300件の工事が稼働中でしたが、9割の現場で休工に取り組んでいただきました。本年度は6日間実施する予定です。

2. 発注・施工時期の平準化

限られた技術者や資機材を効率的に活用するためには、施工時期を平準化して、年間を通じて工事量を安定させることが大切です。当部では、発注見通しの公表や発注の前倒し、早期の繰越手続きなどを活用しながら、平準化対策に取り組んでいます。

平準化の状況を示す「平準化率」は改善してきており、工事が多い時期と少ない時期の差も縮まってきています。



※平準化率(上記%)：第1四半期件数／年間平均件数

3. 労働環境の改善

技能労働者の労働環境の改善は、建設業界が働きがいのある職場となるためにも必要不可欠です。現場の労働環境の実態を把握するために、本年度から労働環境調査モデル工事に着手します。本年度は、県土整備部全体で20件程度発注する予定です。

＜モデル工事の概要（調査内容）＞

(1) 適正な労働環境の確保状況

- ・調査項目： ①労働条件、②労働時間の管理、③労働賃金、④安全衛生、⑤各種保険等の加入状況、⑥法定帳簿等の整備状況、⑦下請契約関係の確保状況。

(2) 技能労働者の労働賃金の支払状況

- ・調査項目： 労働者51職種ごとの労働賃金（元請、下請次数別）。

(3) 重層下請の発生状況

- ・調査項目： 重層下請となる理由。

※モデル工事や総合評価方式の詳細は、

建設管理課ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a1002/index.html>) をご覧ください。

STOP！熱中症

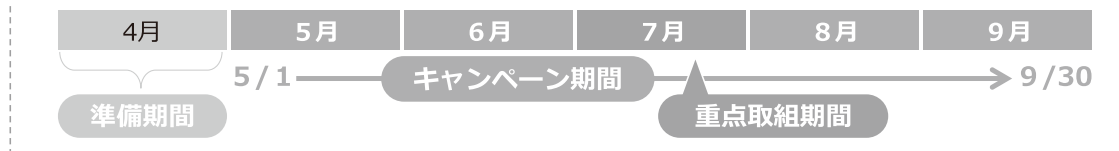
令和元年5月～9月

クールワークキャンペーン


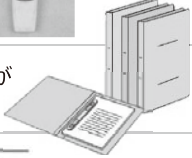




— 熱中症予防対策の徹底を図る —

職場における熱中症で亡くなる人は、毎年全国で10人以上にのぼり、4日以上仕事を休む人は、400人を超えています。厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防のための重点的な取組を進めています。各事業場でも、事業者、労働者の皆さまご協力のもと、熱中症予防に取り組みましょう！

●実施期間：令和元年5月1日から9月30日まで（準備期間平成31年4月、重点取組期間令和元年7月）



事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。
 確実に実施したかを確認し、□にチェックを入れましょう！

準備期間（4月1日～4月30日）	
<input type="checkbox"/> 暑さ指数（WBGT値）の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合した暑さ指数計を準備しましょう。 
<input type="checkbox"/> 作業計画の策定など	暑さ指数に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。 
<input type="checkbox"/> 設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、暑さ指数を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
<input type="checkbox"/> 服装などの検討	通気性のいい作業着を準備しておきましょう。送風機能のある作業服やクールベストなども検討しましょう。 
<input type="checkbox"/> 教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょう。 
<input type="checkbox"/> 熱中症予防管理者の選任と責任体制の確立	熱中症に詳しい人の中から管理者を選任し、事業場としての管理体制を整えましょう。 
<input type="checkbox"/> 緊急事態の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（農林水産省、国土交通省、環境省）



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

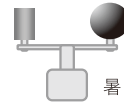
(R元.5)

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP
1

☐ 暑さ指数（WBGT値）の把握

JIS 規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を測りましょう。



暑さ指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定した暑さ指数に応じて次の対策を取りましょう。

<input type="checkbox"/>	暑さ指数を下げるための設備の設置	
<input type="checkbox"/>	休憩場所の整備	
<input type="checkbox"/>	涼しい服装など	
<input type="checkbox"/>	作業時間の短縮	暑さ指数が高いときは、単独作業を控え、暑さ指数に応じて作業の中止、こまめに休憩をとるなどの工夫をしましょう。
<input type="checkbox"/>	熱への順化	暑さに慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らしましょう。
<input type="checkbox"/>	水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても定期的に水分・塩分を取りましょう。
<input type="checkbox"/>	健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。
<input type="checkbox"/>	日常の健康管理など	前日の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんと取ったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的な症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。
<input type="checkbox"/>	労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。

STEP
3

熱中症予防管理者は、暑さ指数を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- 暑さ指数の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせなくてよいか

☐ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・一旦作業を離れる
- ・病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）



梅雨明け

- 暑さ指数の低減効果を改めて確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- 特に梅雨明け直後は、暑さ指数に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- 少しでも異常を認めたとときは、ためらうことなく、すぐに救急車を呼びましょう。



埼玉労働局では、平成 30 年の県内の事業場における休業4日以上の中熱症の発生状況を取りまとめたので公表します。また、昨年大幅に増加した中熱症の予防対策を徹底するため、5月～9月の期間、「STOP！中熱症クールワークキャンペーン」を実施し、セミナーを実施するなど、あらゆる機会を通じて、その予防措置の周知・指導を行います。

1 「年別」発生状況

死亡者数は1人、休業4日以上の中熱症者数は83人で、記録が残る平成11年以降で過去最多となっています。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
死亡者数	0	4	2	1	1	0	1	0	0	1
休業4日以上の中熱症者数	9	43	22	20	27	22	36	12	22	83

※ 1 資料 労働者死傷病報告（以下同じ）。 (人)

2 平成11年から平成20年は、各年8人～14人で推移

〔死亡事例〕

平成30年7月、事業場敷地内で停車していたタンクローリー車のタンク内で、トラック運転者が倒れていた状態で発見され、中熱症による死亡と確認された。

2 「業種別」発生状況

業種別では、運送業18人、次いで製造業14人、建設業12人、商業10人、警備業7人、ゴルフ場5人などとなっています。

業種	製造業	建設業	運送業	商業	ゴルフ場	警備業	その他	合計
H29	4	3	6	4	1	1	3	22
H30	14	12	18	10	5	7	17	83

3 「発生月別」発生状況

発生月別では、7月46人、次いで8月33人、6月3人となっています。

被災月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
H29	1	2	9	9	1	22
H30	0	3	46	33	1	83

(人)

4 「発生時間帯別」発生状況

発生時間帯別では、午前11時台と午後2時台11人、次いで午前10時台と午後3時台10人となっています。

被災時間	午前				午後								合計
	9時以前	9時台	10時台	11時台	0時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時以降	
H29	1	1	3	3	1	1	4	1	4	0	1	2	22
H30	7	1	10	11	6	6	11	10	9	4	0	8	83

(人)

5 「年代別」発生状況

年代別では、75%が40歳台以上となっています。

年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	合計	40歳代以降の割合
H29	1	1	5	8	3	4	22	68%
H30	1	11	9	24	20	18	83	75%

(人)

平成30年の埼玉県内の事業場における熱中症の重症事例

発生月	発生場所	業種	年齢	発生状況
7	草加市	建設業	50歳代	事務所内で事務作業を行っていたところ、連日の猛暑で室温が上昇していたためめまい、嘔吐など体調異常を感じ、横になって様子を見たが回復せず、救急搬送されたもの。
7	戸田市	通信業	50歳代	バイクで郵便物の配達をしていたところ、配達先で具合が悪くなり倒れ、救急搬送されたもの。
7	東松山市	ゴルフ場	50歳代	ゴルフ場で草刈中に、気分が悪くなり、涼しいところで休ませるも容体が悪化したもの。
7	川口市	警備業	50歳代	水道工事の交通誘導中、めまいで立っていられなくなり、救急搬送されたもの。
8	新座市	警備業	80歳代	工事現場にて交通誘導を行い、午後の休憩中、大量に発汗及び吐き気がして体調が悪くなったため、救急搬送されたもの。
8	市川市	運送業	60歳代	最初の配送先での作業終了後、めまい、吐き気を感じ、最後の配送先で倒れたもの。
8	入間市	製造業	40歳代	屋外で納車準備のための洗車・拭き上げ作業中、意識がもうろうとなり、倒れたもの。
9	川越市	製造業	20歳代	煎餅の生地を乾燥させるため、乾燥機に生地を出し入れする作業中に、意識を失ったもの。

建設工事の品質確保・向上を目指して ～不可視部分のより良い施工管理 パート3～

埼玉県総合技術センター

私たち、公共工事に携わる者には、良いものを、早く、安く、うまく（安全性や効率性）造ることが求められています。

“良いもの”とは、構造物そのものに対する信頼性や耐久性、また使いやすさなど利用者からの評価等様々な要素から成っています。

“良いもの＝高い品質”は、当然のことですが出来栄のみならず、完成後に見えなくなってしまう「不可視部分」での確実な施工とその記録が極めて重要となります。

このため、当センターでは埼玉県建設工事検査要綱に基づき、完成検査や中間検査時に不可視部分を重点的に検査しております。特に請負代金額が1億円以上かつ工期が6ヶ月以上の工事については、これまでの中間検査の原則複数回実施に加え、平成31年度以降の公告工事から、「中間検査に伴う成績評定」も実施しています。

「不可視部分」について検査時に見受けられた事例については、一昨年から本誌同月号において「不可視部分のより良い施工管理」と題してシリーズ化し、紹介してきました。

本稿では、前半で平成30年度の建設工事検査実施状況をお示するとともに、後半ではシリーズ化した「不可視部分のより良い施工管理」“パート3”を施工管理のポイントとともに紹介しますので参考にしてください。

1. 建設工事検査実施状況

平成30年度に工事検査員が実施した検査件数は、次のとおりです。

区分	中間	完成	計(件)
土木	585	598	1,183
森づくり	50	37	87
農村整備	112	70	182
建築	101	103	204
設備	249	242	491
計	1,097	1,050	2,147

注：工事検査員(兼務を含む)が実施したもの。部分払検査は中間検査に含む。

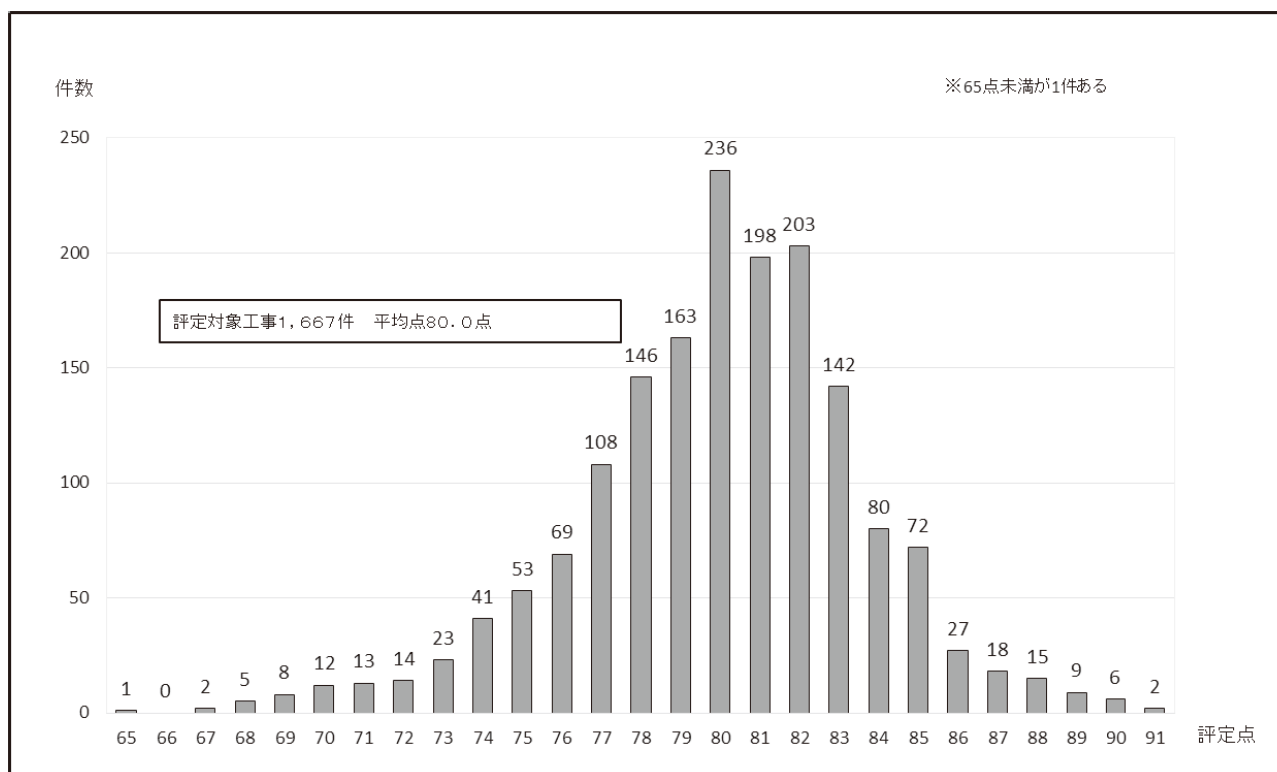
2. 工事成績評定点平均

埼玉県発注の建設工事のうち、評定対象工事の平均評定点は以下のとおりです。

(平成30年度完成工事)

業種	評定対象工事件数	平均評定点
土木	612	80.6
建築	132	79.2
とび	113	80.3
電気	186	79.7
管	105	78.8
鋼構造物	14	80.4
舗装	290	81.0
塗装	26	77.1
機械	109	78.3
造園	20	78.2
水道	6	81.2
その他(消防・通信・防水)	54	77.2
計	1,667	80.0

※「埼玉県業者情報管理システムH30年度成績分布表」を集計(令和元年5月24日時点)



3. 不可視部分のより良い施工管理のポイント

不可視部分は、中間検査や段階確認で確認していますが全てを確認することは難しいため、完成検査時に写真で不可視部分の施工が適正であることが明確に確認又は判定できなければなりません。

必要な精度で施工されているとともに、そのことがしっかり確認できるよう、写真や書類等を整備しておくことが成績評定点のアップにつながります。

ここでは、工事検査員が検査を実施してきた工事の中から、皆様に注意していただきたい工種について施工管理のポイントを紹介します。

1) 土木・農林工事

【河川盛土工】

河川盛土（築堤）は、盛土の材質もさることながら締固めの善し悪しが堤防の強度を決定します。1個所でも弱いところがあれば、それを起因とし全体の治水安全度を低下させてしまうことになります。このため、地盤と盛土の一体性の確保は重要です。

以下の①から③については、検査時の確認に必要となりますので必ず撮影してください。

①盛土工の開始にあたっては、地盤の表面を1層の仕上り厚（30cm以下）の1/2の厚さまで掻き起こしてほぐし、盛土材料とともに締固め、地盤と盛土の一体性を確保すること。（比較的、このプロセスの記録を忘れやすいので注意が必要です。）

②1：4より急な勾配を有する地盤上に盛土を行う場合には、盛土と現地盤の密着を図り、滑動を防止する目的で「段切り」（最小幅1.0m、最小高0.5m）を行ってから盛土、締固めを行うこと。

③1層の仕上がり厚は30cm以下とし、平坦に締固めること。



①掻き起こし



②法面の段切り



③巻出し・敷き均し（各層確認）



③締固め（各層確認）

【橋脚コンクリート巻立て工】

県管理橋梁の耐震補強は、緊急輸送道路を優先し実施しています。耐震補強のうち橋脚巻立て工については、巻き立てるコンクリートを打設する前に行う表面の粗仕上げ及び鉄筋の溶接の際の有資格者の確認等について必ず行ってください。

①鉄筋を配筋する前に、既設橋脚へ巻立てコンクリートとの一体化を目的に「入念にチッピング」して既設橋面を粗にして、コンクリートの打設を行うことが必要です。

この状況が確認できる写真が撮られていないケースが見受けられます。配筋を行ってからはチッピングができないので、確認をお願いします。

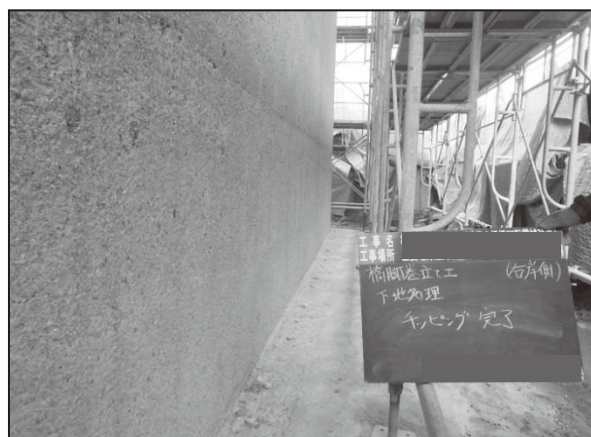
②鉄筋の配筋にあたり、以下の点に注意してください。

- ・既設フーチングに鉄筋を定着させる。(削孔長、定着長を確認してから配筋を行う。)
- ・ガス圧接及びフレア溶接の確認を行う。
- ・千鳥配置になるよう配筋を行う。

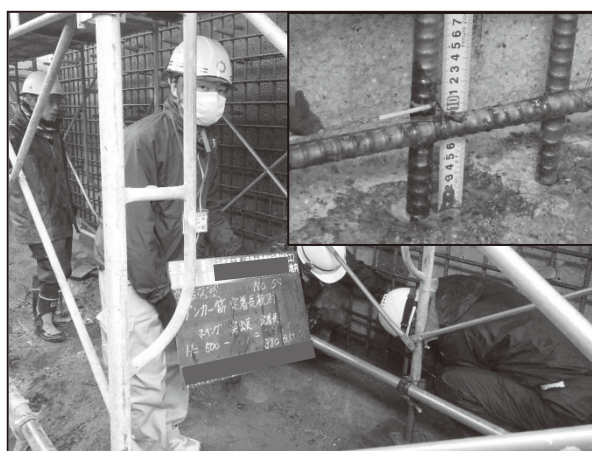
③溶接時には、作業員の資格者証を提示して確認します。その際、作業員が有資格者であることがわかるよう黒板に必要事項を記入し写真を撮るようお願いします(写真ではガス圧接の有資格を確認)。



①チッピング状況



①既存橋脚の表面の粗の確認



②定着長の確認(削孔長確認後)

※写真は鉄筋長を事前に計測、マーキングし、コンクリート面からの突出長を計測し定着長を確認しています。



③現場でガス圧接技量的確性証明書の確認

【管水路工 (硬質塩化ビニル管)】

施工前に出来形管理基準に定める測定項目、測定基準及び写真管理基準により、測定位置及び撮影位置を平面図に記載しておくことが大切です。

管布設完了後、基準高あるいは埋設深を測定するとともに中心線のズレも測定し、規格値内に適切に施工されていることを確認後、その状況を写真撮影しておくことが必要です。

測定及び撮影後、管が移動しないよう管横の埋戻しについては十分注意してください。



管布設完了



管基準高測定



中心線のズレ測定①



中心線のズレ測定②

2) 建築工事

【解体工事】（建設廃材）

最近、改修工事や解体工事が行われる機会が多くなっています。この場合に建設廃棄物の処分についての写真の撮り忘れが多くみられます。建設廃棄物の処理の写真は、①保管・集積状況（分別含む）・②搬出状況及び③処分状況の写真が必要となります。このうち、①保管状況の写真の撮り忘れが非常に多い状況です。特に「アスベスト含有建材」については、社会的影響が大きいことから適正に保管管理していることがわかるように写真を撮りましょう。



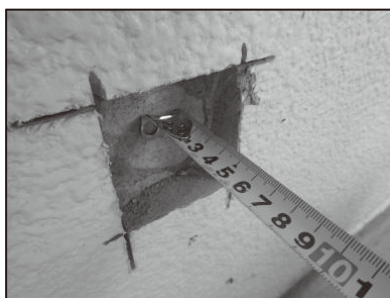
アスベスト含有建材の保管集積状況の写真

保管場所の標識

（アスベスト保管状況：ビニル袋2重に入れて保管）

【外壁改修工事】（外壁モルタル浮き補修）

外壁モルタル浮き補修に、アンカーピンニングという方法がよく使われます。この方法では、コンクリートの躯体にピンを30mmほど挿入する必要がありますが、30mm確保されていることがわかる写真がなく、状況が不明なことがよくあります。



ピンの長さは、モルタルの厚み+30mmで決定し、削孔することが大切です。

実際にモルタルを研り厚みを確認し、ピン長さを決定
 $30\text{ mm (モルタル厚さ)} + 30\text{ mm} = 60\text{ mm} \rightarrow 65\text{ mm (ピン長さ)}$

品質管理のための写真例



タイル・モルタル厚+30mm
でピン長さを決定
→65mm (ピンの長さ)



①

ドリルに長さのマーキングをし、削孔した後、
①長さ65mmを確認できる物差（針金等を作成）
②削孔部へ挿入し、深さを確認



②

3) 設備工事

【電気設備工事】

- ①防火区画を貫通するケーブルを認定工法にて施工した、措置状況写真です。防火区画貫通部の施工では、区画貫通措置部材や鋼製電線管の長さなどが材料検査書類にて確認できること。また、施工状況が工事写真にて確認できる必要があります。
- ②ちょう架用線への接地状況を撮影したものです。高所など、施工後の確認が困難な場所では、施工状況が確認できるよう、写真記録を残す必要があります。



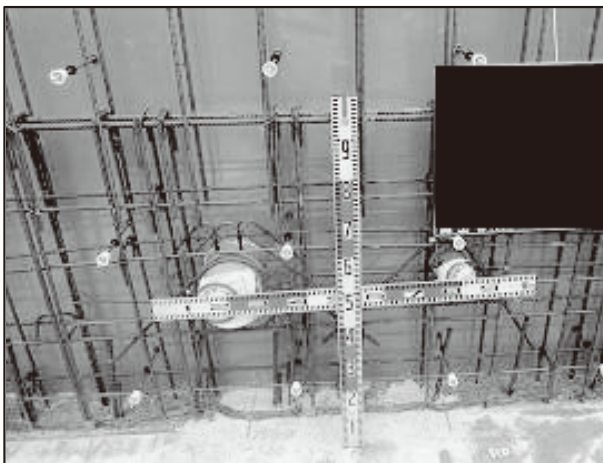
① 区画貫通部の措置状況



② ちょう架用線への接地状況

【機械設備工事】

- ①スリーブの写真です。スリーブの位置や大きさ、補強の状況など、写真や材料検査記録により、施工図と照らし合わせて確認ができる必要があります。
- ②既存インサートの強度を確認している写真です。やむを得ず既存インサートを再使用する場合、試験結果や写真などの記録により、インサートの強度が確認できる必要があります。



① スリーブの施工状況



② 既存インサートの強度確認状況

埼玉県の空き家対策の取組

埼玉県都市整備部 建築安全課

はじめに

平成 31 年 4 月 26 日に公表された「平成 30 年住宅・土地統計調査」（総務省統計局）によると、県内には 34.6 万戸の空き家が存在しており、そのうち 12.4 万戸は賃貸も売却もされず市場に流通していない空き家です。

すでに本県の住宅ストックは総世帯数を上回っており、今後も住宅の供給のペースが変わらなければ、空き家はますます増加していくことが見込まれます。

また、県内の市町村に寄せられた空き家に関する苦情、相談の件数は平成 30 年度だけで約 3,900 件に上っており、年々増加しています。

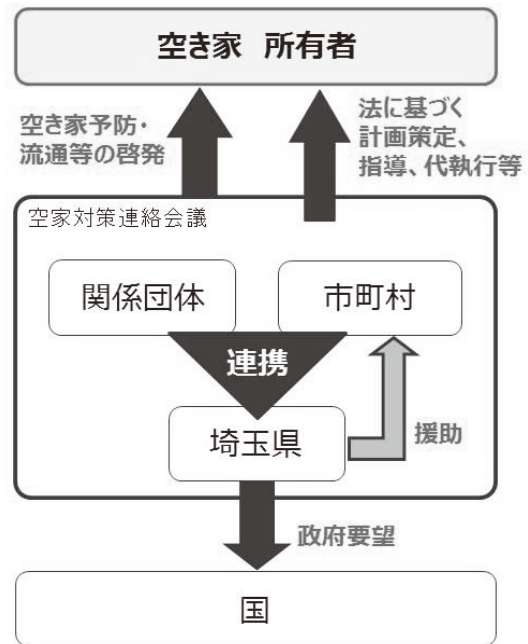
このため、県では空き家の増加を抑制することを目的に、様々な空き家対策を実施しています。ここでは、県の空き家対策の取組についていくつかご紹介したいと思います。



1. 埼玉県空き家対策連絡会議

平成 27 年 2 月に空家等対策特別措置法が施行され、市町村が空き家対策の主体となり、県は市町村の援助をするものとされました。県では、これに先立ち平成 26 年 12 月に市町村相互の連絡調整と関係団体との連携を目的として「埼玉県空き家対策連絡会議」を立ち上げました。

当連絡会議では、市町村担当職員の空き家対策に関する知識を深めるための研修の開催や情報交換を行い、特定の議題を検討する専門部会では、相談窓口の設置方法や空き家バンクの設置手順など、窓口業務の手助けになる各種マニュアルの作成を行っています。また、関係団体と連携し、空き家所有者へ直接的に働きかける取組なども実施しています。



2. 空き家の持ち主応援援隊

空き家が管理されずに放置されてしまうと、草木が伸びて害虫が発生したり、老朽化により景観上の問題が生じ近隣に悪影響を与えるなど、社会的な問題になっています。そこで、県では平成30年4月から、埼玉県空き家対策連絡会議の構成員である（公社）埼玉県宅地建物取引業協会及び（公社）全日本不動産協会埼玉県本部と連携し、「空き家の持ち主応援援隊」という取組を行っています。

この取組は、空き家の所有者が空き家の管理、売却、賃貸、解体などを相談、依頼できる、地域の不動産業者を両団体のサイトで簡単に検索できるようにしたもので、だれに相談すれば良いかわからないという理由で放置される空き家の発生を抑制することを目的としています。

地図や一覧から業者を選択



業者ごとのサービス・料金を掲載



サイトに掲載の業者は、不動産団体の会員のうち専門の講習を受けた業者とし、安心して相談、依頼できるようにしています。

開始して一年間で相談から成約に至った事例は 80 件（管理:10 件、売買 29 件、賃貸 21 件、解体 20 件）に上り、今後ますます活用されるよう普及啓発を図ります。

3. 相続おしかけ講座

財産の中でも不動産は分けることが困難なため、遺言等がない場合は法定相続人の間で遺産分割協議

が難航する場合があります。その結果、実家が放置され空き家になってしまう例が数多くあります。そこで、このような空き家の発生を防ぐため、本講座は適切な相続対策を周知・啓発することを目的としています。

本講座では、高齢者向けのサロンや地域の自治会などの小規模な既存の集まりに相続問題に詳しい司法書士及び行政書士を派遣します。これは、相続というテーマは日常的には話題にしにくいものであることから、気心の知れた仲間と一緒に明るい雰囲気の中で、近い距離で専門家の話を聞いてもらうことで、より興味をもってもらい、ひとりでも多くの方に相続への準備をしてもらうためです。

なお、本講座は、平成 30 年度の埼玉県空き家対策連絡会議の専門部会において検討した取組で、県が埼玉司法書士会、埼玉県行政書士会、埼玉県住宅供給公社と協働して実施するもので、本年の 6 月から本格的にスタートしています。

本講座をとおして、相続対策の必要性を認識してもらうこと、また、対策方法は個人の状況により異なるため、専門家への相談を促すことにより、空き家の発生抑制を促進していきます。



県内

プロジェクト紹介 ①

新たな産業団地の整備・産業団地のICT土工

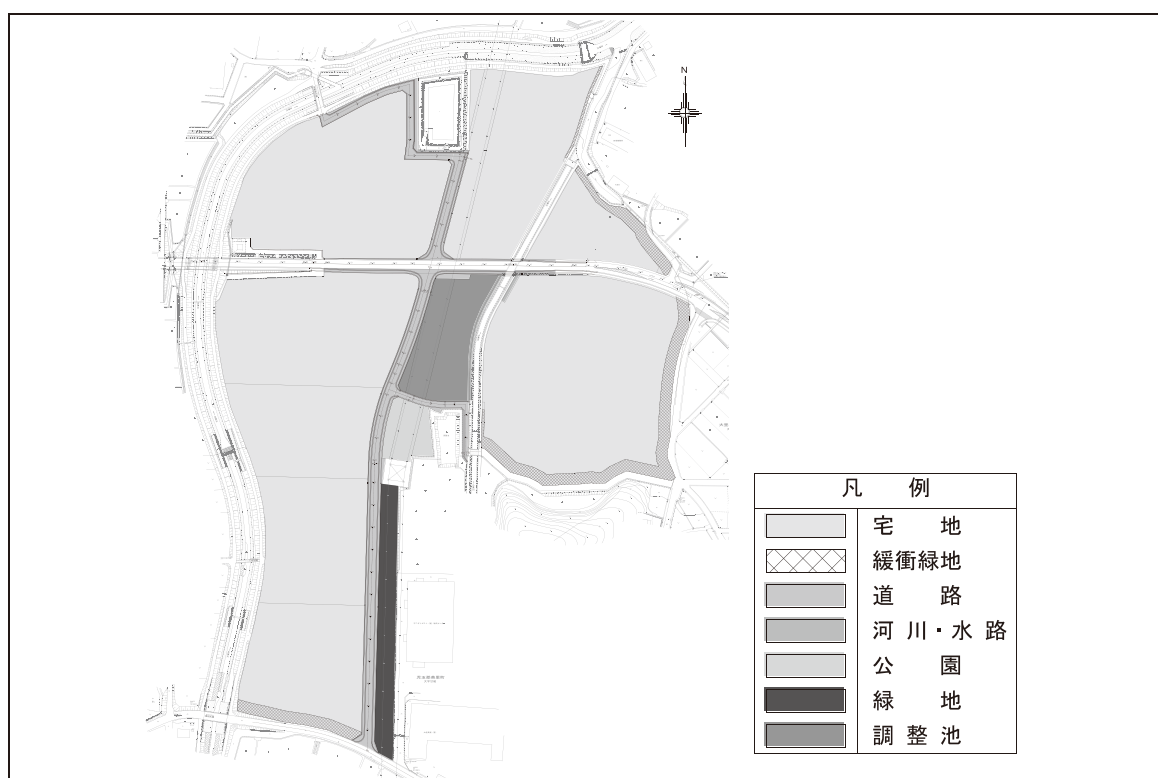
埼玉県企業局 地域整備課

埼玉県企業局では、高速道路網の整備により高まる立地ポテンシャルを生かし、産業集積による地域の活性化を図るため、産業団地の整備を行っています。

現在、生産年齢人口が減少し、働き手の確保が課題となっています。埼玉県ではそうした中でも、企業の経営環境の改善や建設現場に携わる人の安全性の確保などを図るため、土工における ICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術) の活用を推進しています。

今年度完成した寄居スマート IC 美里産業団地では、「ICT 土工」を受注者の協力のもと導入し、工事を行いました。

図表 1 寄居スマート IC 美里産業団地の土地利用計画図



●寄居スマート IC 美里産業団地の概要

- ・ 団地位置：埼玉県美里町甘粕ほか地内（寄居 PA から約 0.5km）
- ・ 開発面積：14.0ha
- ・ 宅地面積：11.8ha
- ・ 調整池面積：0.6ha

●ICT 土工の効果

「ICT 土工」とは、「測量、設計・施工計画、施工、検査」の建設工事の各プロセスで ICT を用いて、3次元データを一貫して使用する施工です。

本産業団地の工事では、調整池築造の法面整形や宅地造成の一部において、「ICT 土工」を導入しました。その結果、これまで必要だった補助作業員が不要となり、より生産的かつ安全な工事を実施することが可能になりました。

●ICT 土工の工事内容

- ・ 3次元起工測量 面積：35,000m²
- ・ 調整池土工（掘削）：12,000m³
（法面整形）：2,300m²
- ・ 宅地造成工 面積：29,000m²

図表 2 当現場で使用した ICT 建機

名称	用途
MG(マシンガイダンス)バックホウ	調整池の掘削、法面整形
MC(マシンコントロール)ブルドーザ	宅地の盛土、敷均し

写真 1 寄居スマート IC 美里産業団地完成写真（団地一部）



写真 2 マシンガイダンスショベルによる法面整形状況（左）、操縦席のモニター画面（右）



県内

プロジェクト紹介 ②

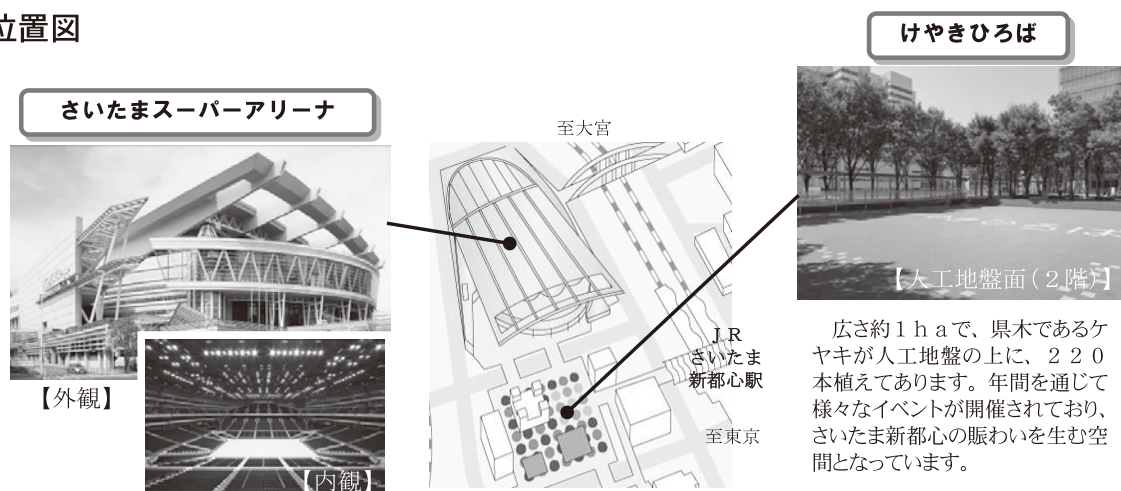
さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップについて

埼玉県都市整備部 都市整備政策課

さいたまスーパーアリーナ（以下、「スーパーアリーナ」という。）は、JRさいたま新都心駅から徒歩3分に位置しており、音楽、スポーツ、展示会などの様々なイベントに対応できる多目的アリーナです。平成12年9月の開業以来、施設利用は順調に推移しており、現在では、年間約300万人以上が来場する日本を代表するアリーナとなっています。

来年の東京2020オリンピックでは、バスケットボール競技の会場にもなっており、男女合わせて全52試合が開催されることから、世界中から多くの来場者が見込まれます。

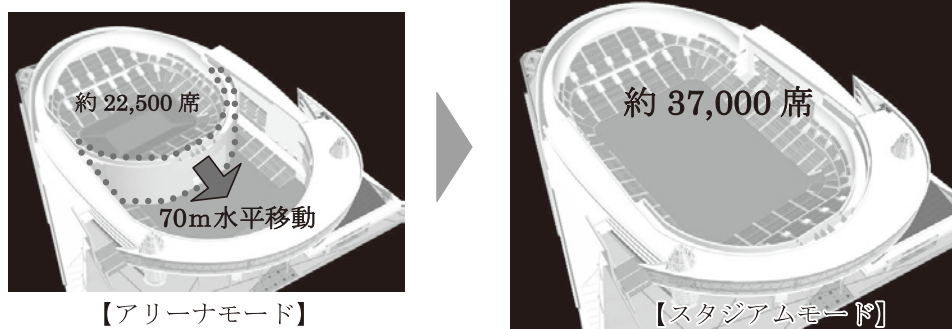
■ 位置図



■ 施設概要

スーパーアリーナ最大の特徴は、総重量約15,000トン、高さ41.5メートルの巨大な構造物が、約9,000席の客席と数々の施設とともに70メートル水平移動する「ムービングブロック」です。この世界最大級の可動システムにより、様々な空間を作り出すことが可能となっています。

さらに、約13,000席の客席を自動で引き出したり収納したりすることで様々な客席配置パターンが可能なことや昇降する天井、吸音性に優れた座席など音響面にも配慮していることから、イベント主催者からも定評があります。



■ スーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップ

事業目的

東京2020オリンピックの開催に向け、多くの来場者へのおもてなし向上のため、バリューアップを実施します。また、スーパーアリーナがバスケットボール会場として広く認知されることを目指します。

事業内容

① オリンピックに向けた気運醸成&レガシー創出事業

スーパーアリーナの屋外照明を、オリンピックカラーにも対応できるようカラーLEDに更新します。大会後は、オリンピックレガシーとして各種イベントや社会運動のシンボルカラーなどに有効活用します。

スーパーアリーナの大屋根を
五輪カラーでライトアップ

【屋外照明の改修内容】
(改修前) メタルハライドランプ
▼
(改修後) カラーLED投光器



② オリンピックに向けたおもてなし向上の施設整備

来場者の円滑な誘導や、暑さ対策、暗さ対策のための施設整備を実施します。また、芝生広場を改修し、3人制バスケットボール等の多彩な利用を可能にします。

- スーパーアリーナ： 案内看板のデジタル化
- けやきひろば： ミストの拡張・更新、照明のLED化、芝生広場の改修

③ けやきひろばにおけるバスケットボールイベントの開催

民間と連携してオリンピックの気運醸成イベントを開催します。

④ スーパーアリーナ・けやきひろばの案内表示の多言語対応

スーパーアリーナ・けやきひろばの多言語案内等の整備を実施します。

⑤ スーパーアリーナのアメニティ向上

スーパーアリーナのトイレをオリンピックまでに全面洋式化します。

2019年度予算額 662,976千円

県内

プロジェクト紹介 ③

「女性職員活躍プロジェクト ～リノベーション賃貸住宅“KOBAKO”～」

埼玉県住宅供給公社

当公社では築45年の熊谷団地の2住戸を、女性職員の意見を取り入れてリノベーションし、ライフスタイルにこだわりのある世代に住んでもらおうと企画して2019年2月に完成しました。

これは当公社の女性職員活躍プロジェクトの平成30年度活動の一環で「公社賃貸住宅リノベーション支援」として、プロジェクトメンバーが意見を出し合い、彩りあふれるたくさんのアイデアを盛り込んだ部屋が2DKタイプと1LDKタイプで全く違うコンセプトに仕上がりましたのでご紹介します。

1978年竣工の熊谷団地で、かつて団地で主流だった2DKタイプを
”KOBAKO”としてリノベーションしました。



[公社賃貸住宅「熊谷団地」(19号棟)]
所在地 : 熊谷市銀座4-2-19
竣工年月 : 昭和48年(築45年)
構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 4階建
(店舗10区画、賃貸住宅30戸)

従来の間取り



”KOBAKO” 和モダン2DKタイプ

”KOBAKO” ニュートラル1LDKタイプ

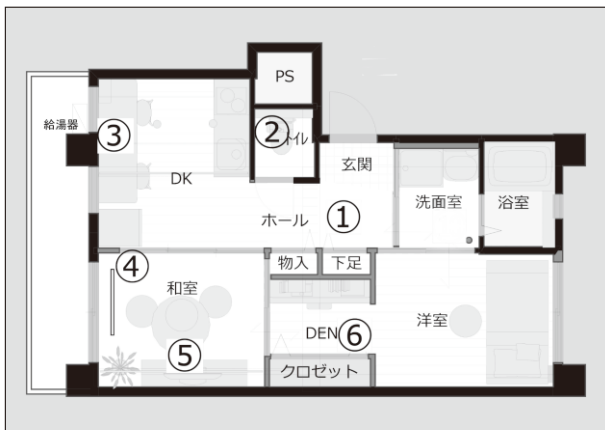
○プロジェクトニックネームについて

”KOBAKO” = “コバトン × コウシャ”

住みたい県 No.1 を目指して、公社が提案する住宅です。

私たちの住まいである住宅は大きな箱ですが、その中に、住む方と供給する私たちの想いや理想を満たした小さな箱がたくさんつまっています。“小箱”を開ける度に、彩りあふれるたくさんのアイデア、幸せ、笑顔などが度々訪れますようにという願いをこめて。

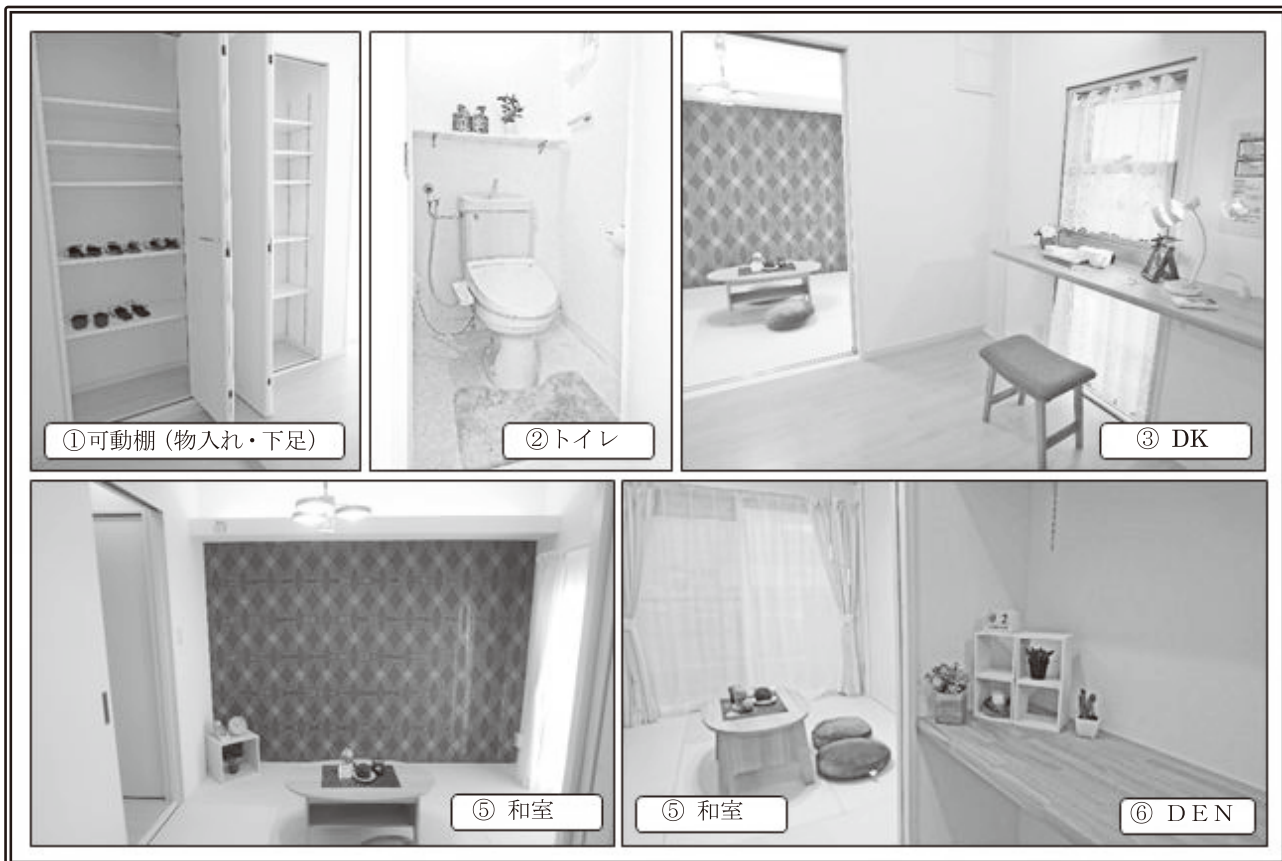
[“KOBAKO” 和モダン 2DKタイプ]



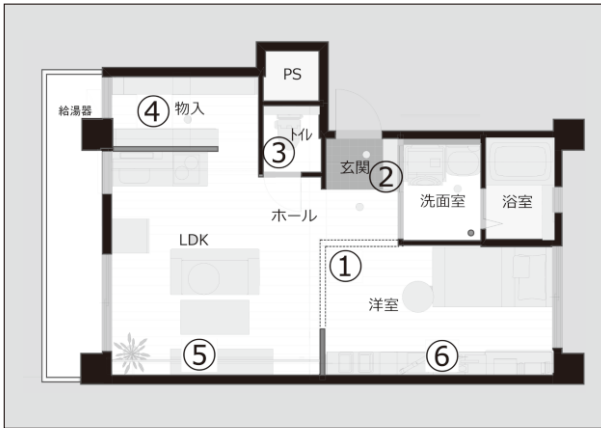
「和」と「モダン」をイメージした空間に仕上げました。
 窓の外の景色を楽しむことのできる食事カウンターや、
 くつろぐ場として畳和室を設けました。
 広めの玄関土間 → DK → 和室 → 納戸や書斎として
 も使える小部屋 (DEN) → 洋室 → 洗面室 → 玄関を
 回遊できる動線にしました。

☆このプランに盛り込んだ彩りあふれるたくさんのアイデア

①	広めの土間をとった玄関・物入と下足は全て可動棚
②	トイレにストックや小物を置ける棚を設置・壁紙はピンクのアクセントクロス
③	外の景色を見ながら手軽に食事がとれるカウンター
④	昇降式室内物干し・DKと和室の一体化も分けての利用もできる間仕切り
⑤	乳白色の和紙畳を敷き、モダンなアクセントクロスの壁紙を貼った和室
⑥	クローゼットと書斎や家事スペースとしても使えるような固定棚と可動棚



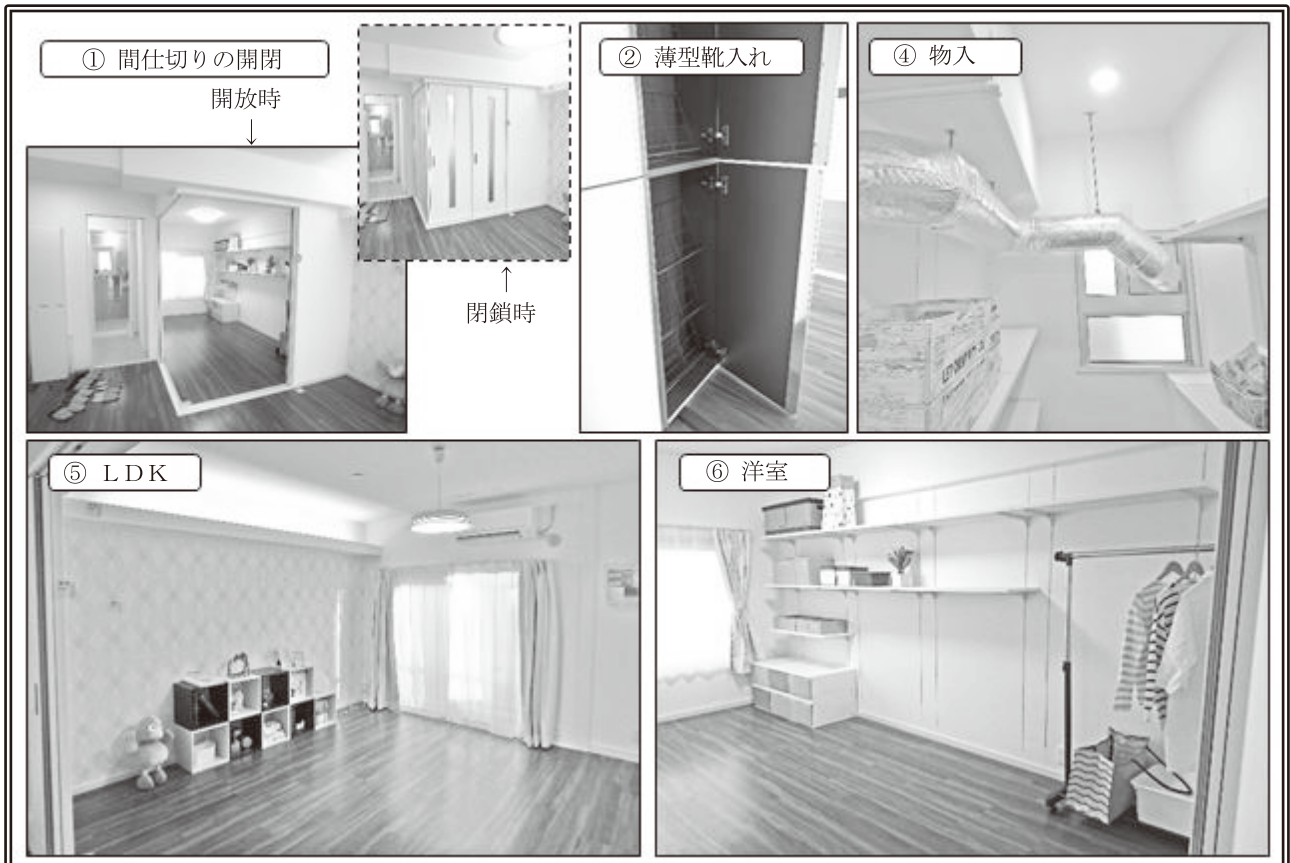
【“KOBAKO” ニュートラル 1LDKタイプ】



洋室とリビングの間仕切りを開閉することにより、1ルームとして使えるようにしました。キッチン裏にはパントリーにも使える物入れを配置し、収納は全体的に住む人の個性を活かせるオープンな可動棚を配置した斬新なプランとしました。

☆このプランに盛り込んだ彩りあふれるたくさんのアイデア

①	間仕切りを開け放つと部屋全体が大きなワンルームとして使える
②	玄関を少しでも広く使用してもらうため、薄型靴入れを配置
③	トイレにストックや小物を置ける棚を設置・壁紙は猫のアクセントクロス
④	壁2面に可動棚を設置したパントリーにも使える物入れ
⑤	ダクトスペースによる下がり壁を利用して間接照明を設置
⑥	壁1面がオープン可動の棚板でアレンジ可能な見せる収納



○女性職員活躍プロジェクトメンバー会議の様子



7/上旬 主となる提案を検討

7/上旬 設計テーマ（コンセプト）を設定

8/上旬 修正課題を検討

8/上旬 プランの方針最終決定

○埼玉県住宅供給公社の女性職員活躍プロジェクトとは

2017年6月、女性職員の提案で“商品力向上・職場環境改善”を図ろうという目的で、総務部の呼び掛けにより部署の垣根を超えてメンバーが意見を出し合う場を作り活動しています。

<主な活動>

- 2017年度
 - ・職場の改善提案、公社事業への提案等を持ち寄りフリーディスカッション
 - ・他団体の女性スタッフだけでの商品づくりについて意見交換と現地視察等
 - ・女性の建築事務所代表による公社職員向けの講演会と座談会開催
- 2018年度
 - ・公社賃貸住宅リノベーション支援
 - ・公社リーフレット作成支援
 - ・女性の大学教授による公社職員向けの講演会と座談会開催

埼玉県住宅供給公社では、仕事と家庭の両立を支援し、男女がともにいきいきと働ける職場環境づくりに取り組む企業として、県から「多様な働き方実践企業」の認定を受けています。

そして今後もここに住みたいと思っただけの住宅の提供を目指して取り組んでまいります。

こちらのQRコードから“KOBAKO”の紹介動画がご覧いただけます。(80秒)



告知板

埼玉県総合評価方式活用ガイドラインの改定について

埼玉県県土整備部 建設管理課

令和元年5月16日（熊谷会場）及び22日（浦和会場）に、入札参加者の皆様に向けて「総合評価方式活用ガイドライン改定等説明会」を開催させていただきました。たくさんの方々に御参加いただきありがとうございました。

平成30年7月から適用している現行のガイドラインは、建設業の働き方改革や受発注者の事務効率化に対応するため、パッケージ型の追加や評価項目の改変など大幅な改定を行いました。そのため、現在、入札参加者に浸透と定着を図っているところであり、令和元年度の改定は、評価項目の一部見直しや、表現の修正等にとどめることにしています。

なお、令和元年度の改定版である「埼玉県総合評価方式活用ガイドライン Ver.14」は、令和元年7月1日以降に入札公告を行うものから適用となります。

主な改良点

1 パッケージ型の継続

- ・工事の性格や目的に応じて評価項目をパッケージ化した5タイプの「標準パッケージ」（土木Ⅰ型、土木Ⅱ型、土木Ⅲ型、建築型、設備型）を前ガイドラインと同様に継続します。
- ・県土整備部で平成28年7月から試行を続けている「特定課題パッケージ」（若手育成型、地域担手型、品質確保型）も試行を継続します。

2 評価項目の見直しによる改定

- ・県内企業の担い手確保・育成に関する取組を促進するため、インターンシップ等の受入れ実績の評価基準を見直しました。

過去2年度間に、連続した3日以上インターンシップの受け入れ実績がある。	1点
過去2年度間に、短期（3日未満）のインターンシップ又は現場見学会の受け入れ実績がある。	0.5点

※条件等については、埼玉県総合評価方式活用ガイドライン Ver.14 を参照してください。

適用時期

令和元年7月1日以降に入札公告を行うものから適用します。

※「埼玉県総合評価方式活用ガイドライン Ver.14」は埼玉県のホームページに掲載しています。

是非、ご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/sougouhyoka-top.html>



ものづくり大学卒業生の就職動向について

ものづくり大学 学生課

1 大学の概要

本学は2001年4月に開学し、今年19年目を迎える工科系単科大学です。1学部（技能工芸学部）2学科（総合機械学科、建設学科）から成り、現在1,000人強の学生が在籍しています。また、開学以来平均96%の就職率を達成し、多くの卒業生を実践力も兼ね備えた技術者として産業界に送り出しています。なお、2018年度の入学生から時代のニーズに対応するため、従来の「製造学科」を「総合機械学科」に改変しました。

学生は北海道から九州・沖縄まで全国各地から集まっていますが、出身地別にみると、関東が約80%を占め、次いで甲信越・北陸、東北がそれぞれ約5%となっています。なお、埼玉県出身者が約35%を占めています。

授業は6割以上が実習・演習などで占められており、実務経験豊富な教授陣と各界一流の技術者が指導を行っています。理論と実技を融合したカリキュラムと徹底した少人数実践教育で、社会で即戦力となる実力を身につけた人材の育成に努めています。

本学の特徴である実働40日間（6月中旬から8月中旬）のインターンシップは2,3年次に授業の一環として、総合機械学科では企業等の生産現場での実務を体験し、また建設学科では建設現場での補助的な業務・作業などを体験しています。その他、4年次には、就職を念頭においたインターンシップが用意されており、自分が学んでいる分野に沿った企業で専門性の高い実務を経験することができます。

2 就職の動向

2019年3月卒業者は、従来どおり企業の採用広報が3月1日の解禁で、採用選考の時期が6月1日以降になっていますが、多くの企業が採用広報解禁以前に、短期の企業インターンシップ等を実施するなど、実質上の採用活動に近い活動を開始したことで、学生も早期から就職活動と同等の状況で活動を開始しています。その結果、早期に内定を得る学生が多く見受けられました。

2019年3月卒業者の就職率は98.2%で、そのうち、埼玉県内への就職率は24.0%となっています。学科別にみると、製造学科96.4%（埼玉県内23.5%）、建設学科99.3%（同24.3%）となっています。

2019年3月卒業者の就職先業種をみると、製造学科卒業生では「設計・運輸等」（25.7%）、「金属製品」（19.3%）、「化学・プラスチック」（10.3%）、「電機・電子」（9.0%）、「一般機械」及び「自動車・造船」（7.7%）の順となっています。建設学科卒業生では「総合建設」（30.5%）、「建築・住宅」（26.0%）、「専門工事」（16.1%）、「設計・不動産等」（9.6%）、「各種製造」（5.2%）、「土木・造園」（4.4%）の順となっています。

現在、2020年3月卒業予定者（現4年生）が就職活動中です。学生の多くは本学にいただいた求人の中から、説明会や現場見学会などに参加して企業情報の収集に努めていますが、企業の採用・選考時期が昨年より早期化しており、学生の就職に向けた活動も早い段階から本格化しています。この状況から昨年以上に早い段階で内定を取得する学生が多くなると予想されます。



工業高校卒業生の就職動向について

埼玉県教育局県立学校部 高校教育指導課

1 埼玉県の県立工業高校について

本県では県立工業高校を15校設置(図1)しています。学科(図2)については、各工業高校で設置している学科は異なりますが、1学科に対する生徒定員40人又は80人です。建設関係の学科は、6校(いずみ、大宮工業、川越工業、春日部工業、熊谷工業、浦和工業)で生徒定員は320人です。そして、県内の工業高校の令和元年度就職希望者数は約1,980人(令和元年5月15日現在厚生労働省埼玉労働局調べ)です。



図1 埼玉県内の県立工業高校の配置

2 本県工業高校の進路割合について

本県工業高校の卒業生数における各進路先の割合(図3)は、平成30年度卒業生では、就職者が64.2%、進学者が33.9%と昨年度と同様な割合です。ここ数年は生徒優位の売り手市場により就職者の割合が安定しています。

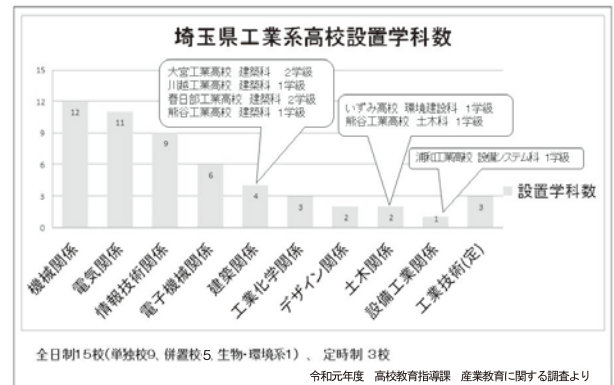


図2 県内工業系設置学科

3 工業高校生の就職の動向について

本県工業高校生の就職について産業別に分類(図4)すると製造業に就く者が58.5%と高い割合を示し、次いで建設業約14.4%、サービス業約7.4%という状況です。

工業高校生の就職については、製造業が中心で、在学中に学んでいる専門性を生かした就職先を選択している傾向が強くなっています。また、県内の企業への就職者が63.0%です。

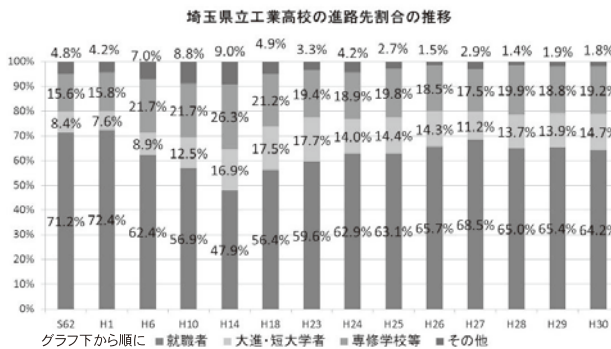


図3 県内工業高校の進路先割合の推移

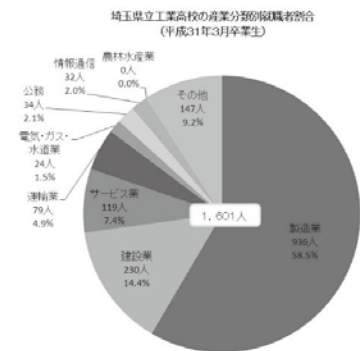


図4 県内工業高校の産業分類別就職者割合

担い手確保
育成コーナー③

建築系学生奨励事業

第19回 **卒業設計コンクール展 開催**

埼玉建築設計監理協会の法人化30周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、共催・協賛団体の協力により運営されています。

今年も、埼玉会館の展示室を会場に、4月13日(土)から16日(火)迄の4日間にわたり開催されました。11大学41名の力作が会場いっぱい展示されました。4月16日には上田清司埼玉県知事がご来場になられ、埼玉県知事賞を受賞した作品を中心に、受賞者と作品について意見交換をされました。埼玉県知事賞、準埼玉賞受賞の作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、今後、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。

◆開催趣旨

昨今の都市計画や建築デザインに於いても、ICT革命時代にふさわしい斬新な発想が求められている。そのような中、新しい世紀の第一線で活躍が期待される建築系学生の能力向上、育成を図る目的で、次代を先取した意欲ある作品を募集し、若い学生達の考える創造価値と熱意を奨励する。

特に、当協会としては「埼玉」を分析し、再構築を試みることであり街づくりの活性化を図り、地域を変える起爆剤となるような夢溢れる作品を待っています。

◆日程	展示場所	埼玉会館第3展示室	さいたま市浦和区高砂3-14
	展示期間	平成31年4月13日(土)	13:00~16日(火)13:00迄
	審査日時	平成31年4月14日(日)	11:00~
	表彰式・懇親会	平成31年4月14日(日)	15:50~

■受賞者ならびに出品者

埼玉県知事賞 JIA最優秀賞	綱川 毅	日本工業大学工学部建築学科 ホームセンター・ハイスクール ものづくりを通じて集まる学びの場
埼玉建築設計監理協会賞 JIA優秀賞	竹内 一輝	東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 寂滅の新陳代謝 —中銀カペルタワー納骨堂転生計画—
準埼玉賞	桑村 駿太	東京電機大学未来科学部建築学科 反転する武甲山
準埼玉建築設計監理協会賞	渡邊 健太郎	日本大学生産工学部建築工学科 都山 ~地山地消型超高層集合住宅~
特別審査委員賞	小泉 大季	武蔵野美術大学造形学部建築学科 文化に浸かる
特別審査委員賞	野口 新	武蔵野美術大学造形学部建築学科 身体の同質性と精神の異質性 nakameguro house
特別審査委員賞	遠藤 涼平	日本大学生産工学部建築工学科 天空の盡廟
JIA優秀賞	進藤 侑侍	ものづくり大学技能工芸学部建設学科 「結び目となる地域」への再生 —古新田地域の新たな街づくり—
埼玉県住宅供給公社賞	小林 弘道	ものづくり大学技能工芸学部建設学科 小さな居場所 —吹上富士見団地改修計画—
さいたま住宅検査センター賞	野邊 茜	東京理科大学理工学部建築学科 まちいとを紡ぎ、ひとぬのを織る
さいたま住宅検査センター賞	岩崎 萌子	工学院大学建築学部建築デザイン学科 水の学校
総合資格学院賞	永田 伊吹	東洋大学理工学部建築学科 再構築のゆくえ
総合資格学院賞	中村 晟宏	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 第2の人生始めませんか?
日建学院賞	南雲 雄大	武蔵野美術大学造形学部建築学科 Lake Town + Cultural Center —創造による循環型ニュータウンをめざして—



埼玉県知事賞
JIA最優秀賞

日本工業大学工学部建築学科 網川 毅
ホームセンター・ハイスクール ものづくりを通じて集まる学びの場

わが国における産業教育の創立以来、専門高校は産業経済を支える人材を輩出し、その発展に寄与してきた。しかし近年は、専門高校生の実習経験の不足や、専門分野で職に就く卒業生の減少が問題視されている。一方で、専門教育を受けない人がものづくりに関心をもち、自らの手でものを作り出す需要が高まっており、ホームセンター（以下、HC）等の施設が人気を得ている。そこでこの計画では、工業、農業、総合高校の実験・実習室を組み込んだ専門高校のサテライトキャンパスと、HCの複合による、新たなものづくりの学びの場を提案する。生徒とHCユーザーの動線を調整し、空間的なスケールを操作することで、専門高校の実験・実習室とHCの売り場が並存する計画とする。半外部である『ものづくりのみち』では、専門高校生と、HCユーザーの活動が交わる。専門高校生に技術の継承をもたらす学びの場であると同時に、一般のHCユーザーに専門的な技術を伝える場となる。



■ 専門高校の現状

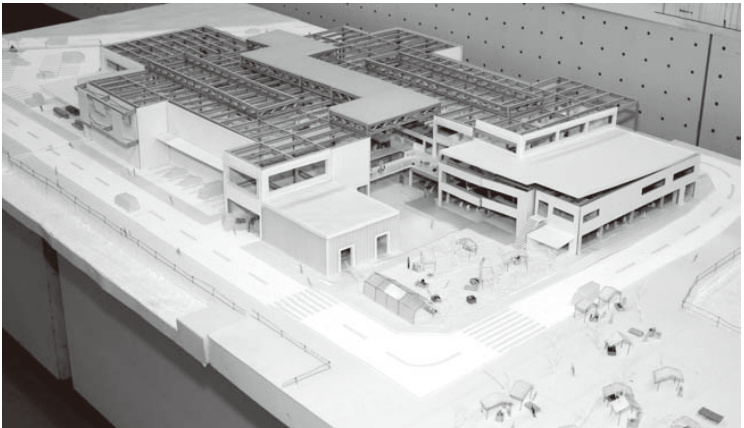
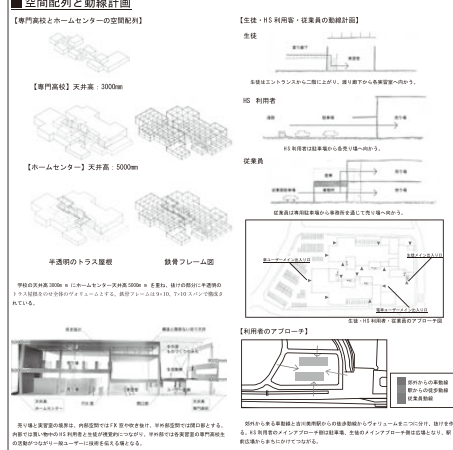
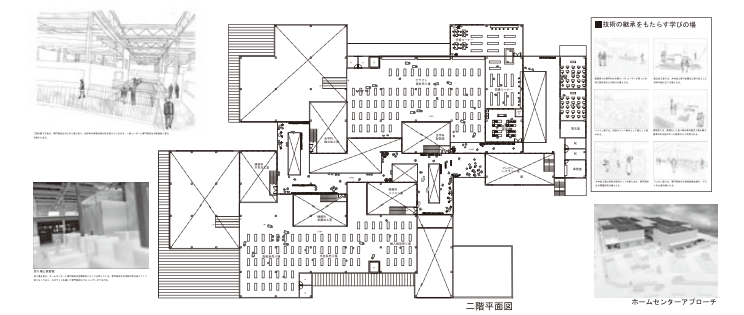
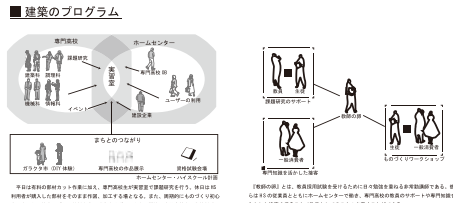
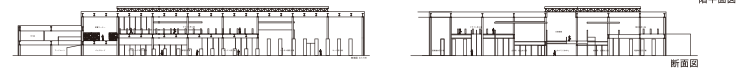
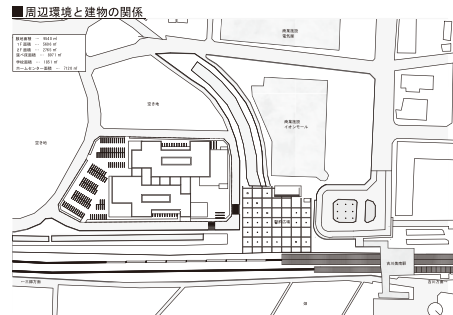
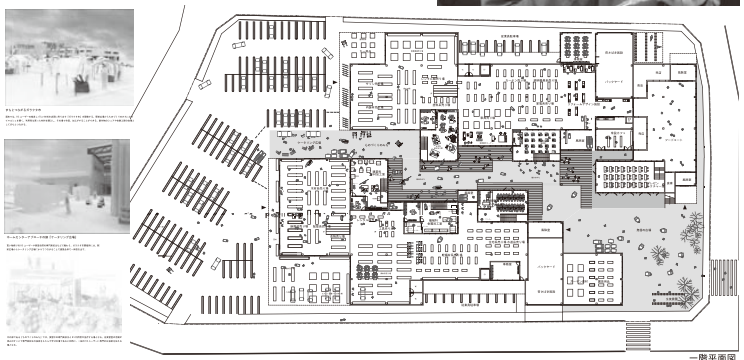
専門高校は、高度な技術教育を目的として設置された。高度な技術教育を目的として設置された。高度な技術教育を目的として設置された。高度な技術教育を目的として設置された。高度な技術教育を目的として設置された。

■ ホームセンター建築の現状

ホームセンターは、生活必需品を揃えるための施設である。生活必需品を揃えるための施設である。生活必需品を揃えるための施設である。生活必需品を揃えるための施設である。生活必需品を揃えるための施設である。

■ 計画地

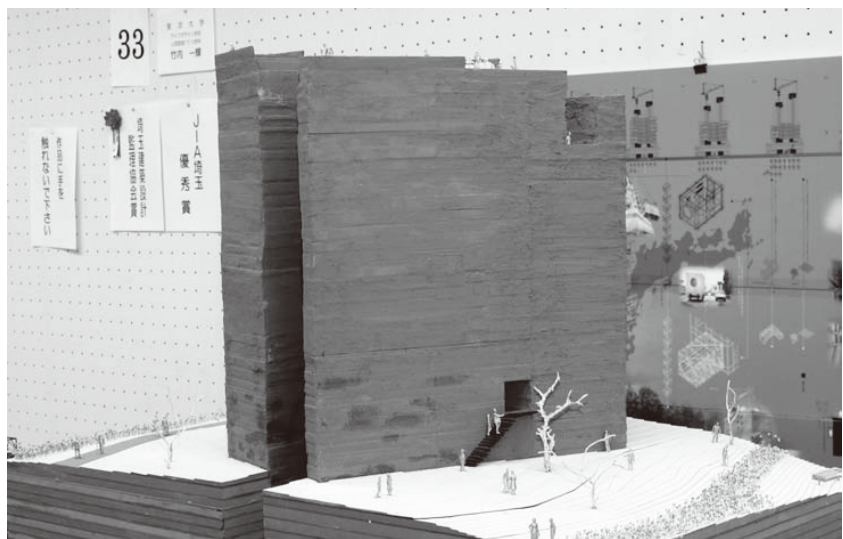
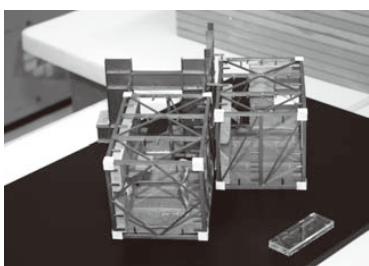
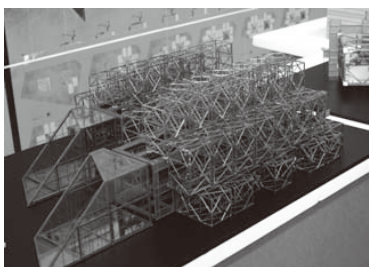
計画地は、既存の施設と連携して、新たな学びの場を創出する。既存の施設と連携して、新たな学びの場を創出する。既存の施設と連携して、新たな学びの場を創出する。既存の施設と連携して、新たな学びの場を創出する。既存の施設と連携して、新たな学びの場を創出する。



埼玉建築設計監理協会賞
JIA優秀賞

東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科 竹内 一輝
寂滅の新陳代謝 —中銀カプセルタワー納骨堂転生計画—

人が亡くなるように、建築もいつかは滅ぶ。
しかし、永遠性とは裏腹の無常観こそが日本で育まれてきた美意識である。
2018年6月から、黒川紀章設計の中銀カプセルタワーはかつてないほどの解体の運命を強いられている。私はこの運命を自然の節理が生む天命であると定め、寂滅の新陳代謝として新たな道筋を与える。



準埼玉賞

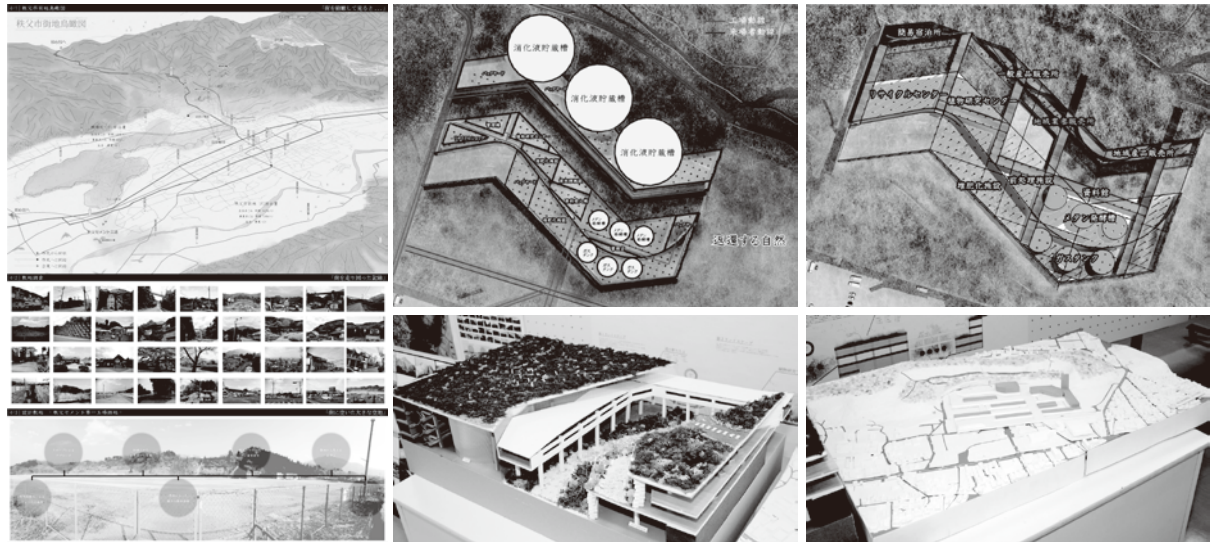
東京電機大学未来科学部建築学科 桑村 駿太
反転する武甲山



埼玉県秩父盆地に立つ霊山・武甲山。信仰の街である秩父に点在する寺社仏閣のすべての御神体がこの武甲山なのだが、表面の石灰岩の採掘により、街のシンボルである武甲山が破壊されてしまった。破壊の象徴とした武甲山の現状を伝えつつ、再生の象徴としての「反転した武甲山」を提案する。敷地はセメント工場第一工場跡地。

そこで三つの機能を挿入する。

- ①再生可能エネルギーを創るゴミ発電所
 - ②街の伝統を再生するための観光拠点「道の駅ちちぶ」
 - ③武甲山表面に自生する石灰岩地特殊植物群落を移植し再生・保存を行う植物研究センター
- これらがランドスケープと一体化した建築を提案する。



準埼玉建築設計監理協会賞

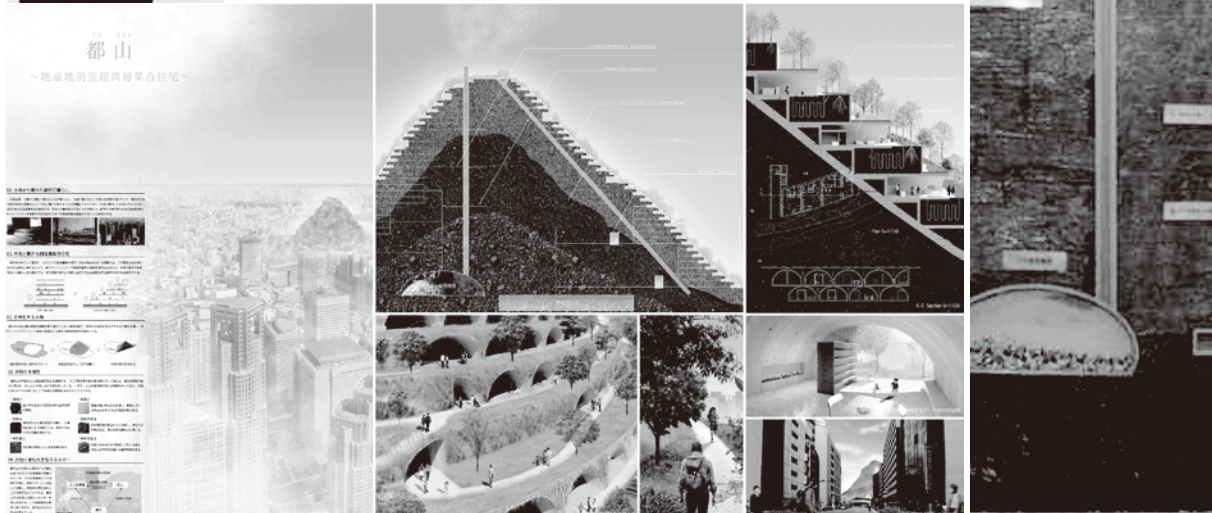
日本大学生産工学部建築工学科 渡邊 健太郎
都山 ～地山地消型超高層集合住宅～



現代の集合住宅は高層化し、大地が消えたことで、様々な環境問題を引き起こしている。

この山は建設残土により住戸を高層化し、大地に根付いた暮らしを可能にするだけでなく、内部には生活を支える大きな機能が潜在する“地山地消”型の超高層集合住宅である。

年月をかけて立体化していく緑は都市に新たな風景をつくる。





埼玉県総合技術センター

埼玉県総合評価方式

現場見学会の実績も加点対象に！

～令和元年7月1日以降の入札公告から適用～

埼玉県総合評価方式ガイドラインが Ver.14 に改定され、令和元年7月1日以降の入札公告から適用になっています。前回、大幅な改定を行ったことから、今回の改定は加点の一部見直しや表現の統一等、小規模にとどめ、地域建設業の育成や建設業の働き方改革の推進など、既存取組の継続による定着を図ることに主眼を置いたものとなっています。

加点の見直しについては、以下のとおりです。

◎「サ（ア）インターンシップ等の受入れ実績」の変更点について

現場見学会を新たに評価対象として0.5点の加点としました。また、3日未満の短期のインターンシップについても新たに評価対象として0.5点の加点としました。

サ 担い手確保・育成に関する取組

（ゴシック体がガイドライン改定に伴う追加箇所）

評価項目	評価基準	配点
(ア) インターンシップ等の受入れ実績	過去2年度間に、連続した3日以上 of インターンシップの受入れ実績がある。	1.0
	過去2年度間に、短期（3日未満）のインターンシップ又は現場見学会の受入れ実績がある。	0.5
	上記のいずれにも該当しない。	0

補 則 (☛ガイドライン41ページ参照)

インターンシップ、現場見学会の受入れ実績は、以下の①～③の全ての条件を満たし、学校と企業との協議のうえ実施されたものを評価対象とします。

①学生・生徒を対象としたものであること。

例：大学（大学院、短期大学を含む）、高等学校、専修学校等

②学校が証明する「インターンシップ等の受入れ実績証明書」により実績が確認できるもの。

様式は埼玉県ホームページ「ガイドライン・マニュアル等様式集（総合評価方式）」

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/sougouhyouka-shiryuu.html>) からダウンロードし、学校に証明を依頼してください。

③県内企業（県内に本店又は主たる営業所を有する企業）が受け入れた実績であること。

★ 埼玉県では、担い手確保・育成に関する取組として、建設業の役割や魅力を知ってもらう「インターンシップ、現場見学会の受入れ」を評価していますので、企業の方に積極的に取り組んでいただければと考えています。

（お問合せ）

総合評価担当 電話048（788）2397

工事成績評点のポイントアップ

工事検査員は、設計図書や関連規定に則して、所定の出来形や品質等が確保されているかを確認し評定を行っています。さらに成績評定をアップさせるためには、現場条件等にあった創意工夫を行うことなどが重要なポイントとなります。

今回は、昨年度の工事から、創意工夫の例を紹介させていただきます。それぞれの現場条件等に合わせ工夫して活用してください。

1 安全衛生関係

〈内部足場の工夫〉

建築物内部での足場作業は、立馬や脚立+足場板での作業が一般的ですが、上向きでの作業が長時間に及ぶことから、安全性や作業効率性に課題があります。今回紹介するのは移動式内部足場を採用し課題を克服した事例です。



評価ポイント

【安全性向上】

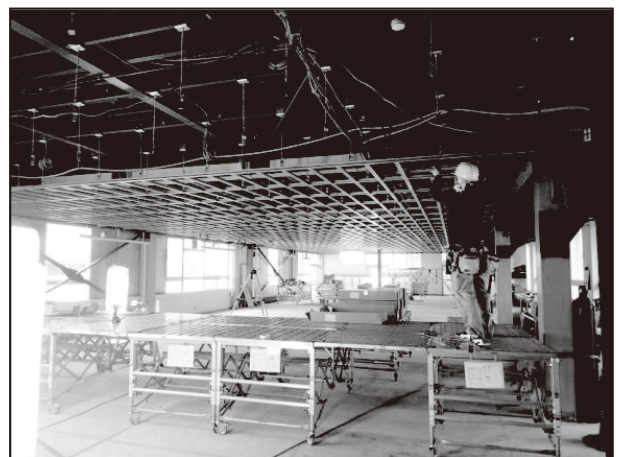
移動式内部足場は、立馬などと比べ、足場面積が広く段差が生じないことから、作業中の危険度が軽減でき安全性が向上する。

【作業効率性】

足場板の高さ調整が可能のため、作業の内容に応じて高さを設定でき、作業効率が向上する。

【施工品質確保】

作業が安定することから、出来形精度・品質の高い仕上げが可能となり施工品質の確保につながる。

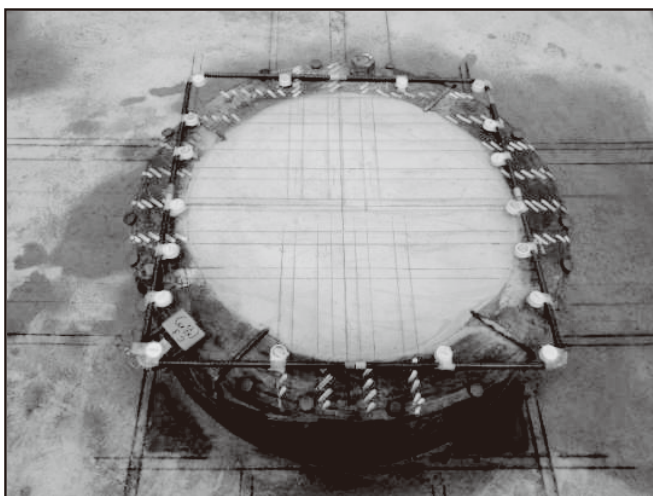


2 施工関係

〈杭頭補強筋の施工精度確保の工夫〉

杭頭部分は、基礎鉄筋や地中梁筋・柱筋といった鉄筋が密に絡み合うため、杭頭補強筋の位置によっては、上部構造体の鉄筋と干渉し、鉄筋を適切な位置に配置できなくなることもあることから、杭頭補強筋の施工精度が課題となります。

今回紹介するのは、杭頭補強筋配置検討図を作成し、杭天端に基礎・地中梁筋の墨出しを行い、柱主筋については主筋の位置出しをしたフープ筋を杭天端にあてがい、杭頭補強筋の位置を決定するという方法で課題を克服した事例です。



墨出し・柱主筋確認状況

評価ポイント

【施工品質確保】

杭頭上部構造体の配筋の乱れのない出来型精度の高い施工の実現につながる。



杭頭補強筋と上部構造鉄筋の状況
(鉄筋との干渉なし)

【参考】(工事検査員から)

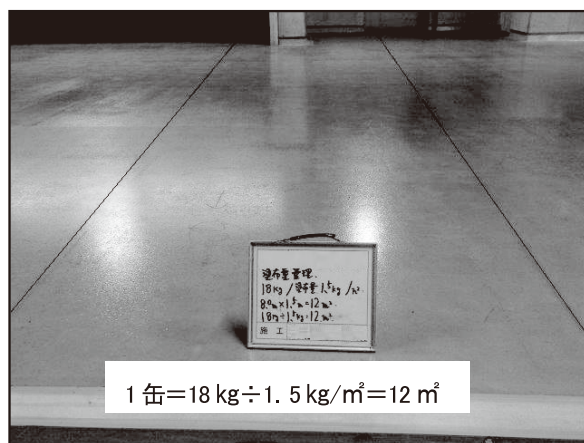
〈塗膜防水について〉

塗膜防水の塗膜管理は、防水工事部分の全体面積に対する塗膜厚で使用量を管理していることから、実際の施工管理でも、全体面積で管理する傾向にあります。

しかし、この場合、極端に塗膜の薄い部分と厚い部分が存在する可能性があります。

少しでも施工精度を上げるためには、1缶で塗れる面積を単位に、1缶毎に割付範囲を定めて施工管理することが大切です。

これにより、どの部分でも、均一な塗膜厚が確保でき、塗膜品質の向上につながります。



(お問合せ)

建築工事検査担当 電話048(788)2242



地域連携ネットワークによる県土づくりの担い手確保・育成事業の取組について(平成30年度)

埼玉県県土整備部 建設管理課

1 入職促進事業

高校生等を対象とする現場見学会、県庁オープンデーにおける小学生とその保護者への建設業のPR、インターンシップの支援等を実施しました。

県庁オープンデー(平成30年11月14日)

重機展示(建設業協会)



DVD上映(鉄構業協同組合)
園芸相談(造園業協会)



発電体験(電業協会)



2 職場定着・資格取得支援事業

(1) 職場定着支援研修

(参加者 新入社員研修：334人、フォローアップ研修：645人)

新入社員や若手職員の職場定着を図るため、社会人としての基礎的スキルの習得、生活や産業の基盤を支える建設業の担い手としての自覚、キャリアアップの道筋を示すことによるモチベーションの向上、さらには同世代間の人的交流を図るために研修を実施し、職場定着を図りました。

新入社員研修(建設産業団体連合会)



フォローアップ研修(建設産業団体連合会)



(2) 資格取得支援研修 (参加者：817人、資格取得者：404人)

技術・技能の向上を図るとともに、賃金アップなどの処遇改善につなげるため、施工管理技士や技能士などの資格取得を支援する研修を実施しました。

技能検定(建築配管)講習会(管工事業協同組合)



技能(壁装)検定受検講習(室内装飾事業協同組合)



(3) シニア指導者育成研修 (参加者：2人)

建設産業団体が職場定着や資格取得を支援する研修を自立的に実施できるよう、熟練技術者・熟練技能者であるシニアを指導者として育成しました。

※埼玉県では、地域連携ネットワークを構成する建設産業団体が行うこれらの研修に係る経費の一部を補助しました(補助実績：11団体が実施した32の研修)。県による補助は、平成28年度から平成30年度までの3か年実施。

3 女性活躍事業 (埼玉県産業労働部ウーマノミクス課と連携)

女性が入職し活躍できる職場環境づくりのため、女性活躍推進"実践"セミナー(参加者：26名)や女性技術者同士の交流会(参加者：14名)等を実施しました。

女性活躍推進"実践"セミナー



女性技術者同士の交流会



4 幹事会における意見交換

担い手の確保・育成の視点から、公共工事の発注・施工時期の平準化、休日の確保、建設キャリアアップシステムなどについて意見交換を行いました。



講習会案内

団体名	講習名	講習予定日	会場
埼玉県電気工事工業組合 048-663-0242	第1種電気工事士学科受験	8月19・20・22・23日	埼玉電気会館
	第2種電気工事士学科受験	第2回:8月26~28日	埼玉電気会館
	高圧・特別高圧電気取扱者特別教育(学科)	第2回:9月2・3日	埼玉電気会館
	小型車両系建設機械(3t未満)運転	9月10・11日	㈱日立建機教習センター 埼玉教習所(草加市)
	1級電気工事施工管理技士受験(実地)	9月9・17・24日	埼玉電気会館
	高圧ケーブル技能認定	第1回:10月1・2日 第2回:10月3・4日	埼玉電気会館
	2級電気工事施工管理技士受験	10月10・18・24日 11月1日	埼玉電気会館
	足場の組立て等作業主任者技能	11月6・7日	埼玉電気会館
	第1種電気工事士技能受験	11月14・15日	埼玉電気会館
	第2種電気工事士技能受験	第2回:11月19・20日	埼玉電気会館
	職長・安全衛生責任者教育	第2回:2月27・28日	埼玉電気会館
	引込線工事教育	酷暑期 1日間 厳冬期 1日間	埼玉電気会館
	巻き上げ機(ウインチ)の運転者特別教育(学科)	8月2日	埼玉電気会館
	丸のこ等取り扱い作業従事者特別教育	8月6日	埼玉電気会館
	低圧電気取扱者特別教育(学科)	第2回:1月28日(火)	埼玉電気会館
	振動工具作業従事者安全衛生教育	2月14日	埼玉電気会館
	自由研削砥石の取替え等の業務特別教育	2月21日	埼玉電気会館
	第二種電気工事士試験(技能)受験準備講習会	7月9・10日	埼玉建産連研修センター202
	足場の組立て等作業主任者技能講習	7月11・12日	埼玉建産連研修センター202
	高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	7月18・19日	埼玉建産連研修センター202
第一種電気工事士試験(筆記)受験準備講習会	8月23・30日 9月13・20・27日	埼玉建産連研修センター202	
1級電気工事施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会	9月4・11・18・25日	埼玉建産連研修センター202	
2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10月2・9・16・23・30日	埼玉建産連研修センター103	
登録電気工事基幹技能者認定講習	10月26・27日	埼玉建産連研修センター101	
埼玉労働局長登録教習機関 建設業労働災害防止協会埼玉支部 048-862-2542	地山の掘削及び土止め支保工 作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第255号)	8月20~22日 10月23~25日	埼玉県民活動総合センター
	足場の組立て等作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第1号)	8月28・29日 10月17・18日	埼玉県民活動総合センター
	型枠支保工の組立て等作業主任者 技能講習(埼玉労働局長登録第2号)	8月7・8日	埼玉県民活動総合センター
	建築物の鉄骨の組立て等作業主任者 技能講習(埼玉労働局長登録第112号)	7月10・11日	埼玉県民活動総合センター
	コンクリート造の工作物の解体等作業主任者 技能講習(埼玉労働局長登録第142号)	7月3・4日	埼玉県民活動総合センター
	木造建築物の組立て等作業主任者 技能講習(埼玉労働局長登録第132号)	9月19・20日	埼玉県民活動総合センター
	鋼橋架設等作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第187号)	7月17・18日	埼玉県民活動総合センター
	石綿作業主任者技能講習 (埼玉労働局長登録第266号)	9月3・4日	埼玉県民活動総合センター
	職長・安全衛生責任者教育	7月30・31日 9月9・10日	埼玉建産連研修センター
	職長・安全衛生責任者能力向上教育	7月23日 10月9日	埼玉建産連研修センター
	足場の組立て等作業主任者能力向上教育	9月13日	埼玉建産連研修センター
	自由研削用といしの取替え等の業務に 係る特別教育	10月4日	埼玉建産連研修センター
	足場の組立て等特別教育(6時間教育)	7月25日 10月28日	埼玉建産連研修センター
	石綿使用建築物等解体等業務特別教育	7月16日	埼玉建産連研修センター
	丸のこ等取り扱い作業従事者特別教育	9月24日	埼玉建産連研修センター
	建設工事統括安全衛生管理講習 (CPDS認定講習)	10月3日	埼玉建産連研修センター
	施工管理者等のための足場点検 実務者研修(CPDS認定講習)	8月27日	埼玉建産連研修センター
	建設業等における熱中症予防指導員・ 管理者研修(CPDS認定講習)	7月9日	埼玉建産連研修センター

※詳細は各団体へ直接お問い合わせください。

県内経済の動き

公共工事前払金保証統計から見た

県内の公共工事等の動き(平成30年度)

<前払金の状況>

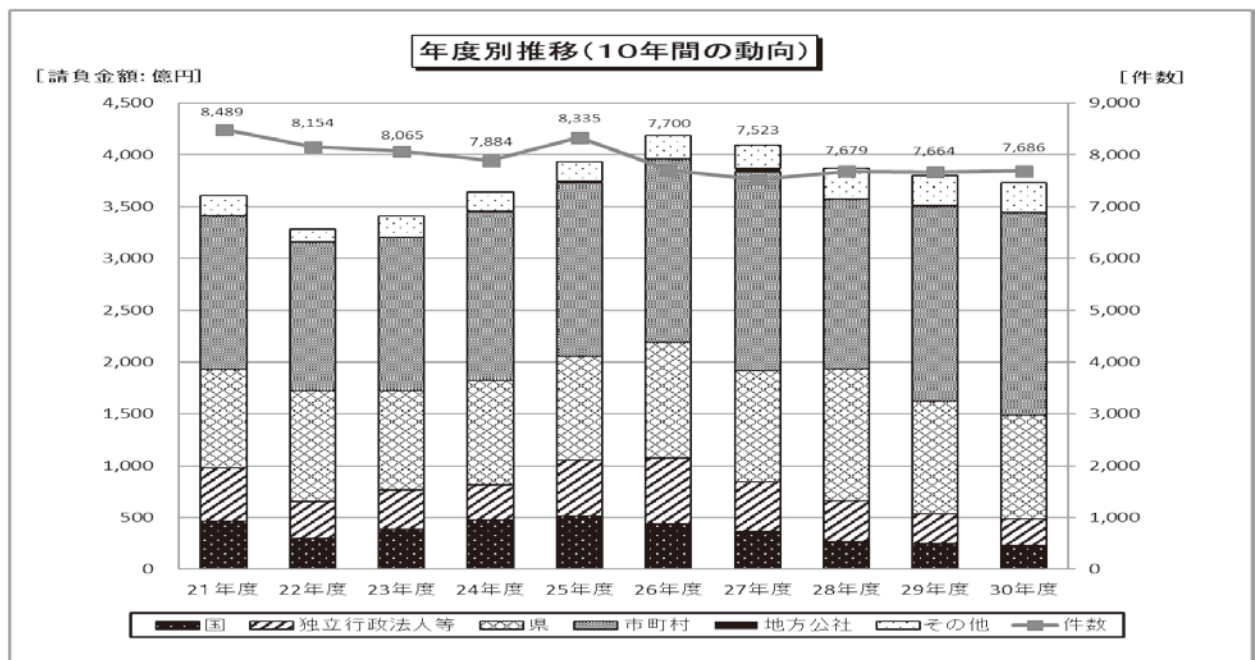
平成30年度の埼玉県内における前払金保証取扱高は、件数が7,686件（前年度比+0.3%）、請負金額が3,733億円（前年度比-1.7%）となりました。

発注者別（請負金額）にみますと、市町村、その他が僅かに増加したものの、それ以外の発注者は全て減少しています。

また、過去10年間の年度別推移（請負金額）をみますと、平成26年度にピークを迎え、その後は減少傾向が続いています。

（金額単位：百万円）

発注者	年度	平成30年度		平成29年度		対前年度増減率(%)	
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国		171	23,643	201	24,405	-14.9	-3.1
独立行政法人等		179	25,204	191	28,794	-6.3	-12.5
県		2,516	100,080	2,467	109,267	2.0	-8.4
市町村		4,448	195,192	4,434	187,735	0.3	4.0
地方公社		36	685	26	1,508	38.5	-54.6
その他		336	28,497	345	28,221	-2.6	1.0
合計		7,686	373,303	7,664	379,933	0.3	-1.7



＜中間前払金の状況＞

国土交通省、農林水産省をはじめとする国の機関や地方公共団体などには、前払金に加えて、工事代金の2割を前払いする制度（中間前金払制度）が導入されております。

平成30年度の埼玉県内における中間前払金保証取扱高は、件数が231件となり、前年度比-15.1%となりました。

（金額単位：百万円）

発注者	平成30年度		平成29年度		対前年度増減率(%)	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	3	650	5	1,818	-40.0	-64.2
独立行政法人等	3	1,463	8	2,178	-62.5	-32.8
県	72	5,960	74	6,462	-2.7	-7.8
市町村	143	16,633	170	17,103	-15.9	-2.8
地方公社	—	—	—	—	—	—
その他	10	2,038	15	1,916	-33.3	6.3
合計	231	26,746	272	29,479	-15.1	-9.3

＜中間前金払制度の導入状況＞

県内市町村においては、改正品確法に基づき発注者共通の指針として定められた「発注関係事務の運用に関する指針」等の内容も踏まえ、順次導入が進められているところです。

平成31年度より新たに杉戸町が導入し、県内導入市町村数は36市2町、導入率は60.3%となりました。



お問い合わせ先

東日本建設業保証株式会社埼玉支店

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 4-3-15 KSビル5階

TEL : 048-861-8885 FAX : 0120-027-336

会員だより

○埼玉県電気工事工業組合

令和元年度通常総代会及び臨時評議員会を盛大に開催

埼玉県電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)は、5月24日(金)に、さいたま市北区の埼玉電気会館で令和元年度通常総代会及び埼玉県電気工事政治連盟臨時評議員会を開催し、平成30年度事業報告と決算報告、令和元年度事業計画案並びに収支予算案などを審議。更に、理事及び監事選任の議案が審議され、満場一致で可決・承認された。また、総会後の理事会において、沼尻理事長の再任が承認された。

令和元年度の主な事業計画は、2019年の理事長方針である「次世代へ繋ぐ 組織改革と人材育成」を具現化するため、「安定した組合運営」として、①組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの策定、②予算の効率的な執行及び自己資本比率40%台の維持等、Ⅱ「電気保安及び安全・安心の確保」として、①一般用電気工作物調査業務の調査品質の向上、②異動作業業務の実施体制の確立等、Ⅲ「電気工事品質及び技術の向上」として、①認定職業訓練校(S・E・Cセンター)の運営充実等、Ⅳ「組合及び組合員の地位向上」として、①支部及び青年部会の活動支援、②新規組合員の加入促進等、Ⅴ「行事の実施」として電設工業祭の開催など40項目が上程され、承認された。



挨拶する沼尻理事長

○一般社団法人 埼玉県電業協会

「令和元年度 定時総会 優良従業員表彰式・総会懇親会」を開催

(一社)埼玉県電業協会は令和元年5月28日にホテルブリランテ武蔵野で定時総会、優良従業員表彰・総会懇親会を開催いたしました。

総会では、岡村会長より「大変お忙しい中総会にご出席有難うございます。平成30年度は県費による補助金事業「県土づくり担い手確保・育成事業」等を活用させていただき、会員企業の技術者の資格取得のための講習会に参加しやすい費用にて開催するなど会員企業の定着率をあげる事業を中心に行いました。また課題であったCPD制度の認定講習を8月より開催し、技術者の加点ポイントとなる制度も開始しました。昨年総会にて役員一新となり、新委員長のもと各委員化事業を活発に行った一年となりました。」との挨拶の後、2議案が可決承認され報告事項の説明が行われました。

総会后、来賓をお招きし、懇親会を開催いたしました。懇親会内で行われた本年度の優良従業員表彰では、永年勤続者表彰部門20年以上に13名、10年以上に19名、優秀技術者表彰部門に5名の方々が受賞されました。その後の懇親会では、来賓代表の方からご祝辞をいただき、総勢約160名のご臨席の皆様とともに和やかな懇談の時間をもちました。

令和元年度も正会員・賛助会員共に融和を図り、躍進の年として当協会の更なる向上を目指していくことを確認しお開きいたしました。



○総会の結果について

構成団体における総会の開催結果は以下の通りです。

一般社団法人埼玉県建設業協会

開催日	5月21日 13時30分から
場所	浦和ロイヤルパインズホテル
役員	改選
会長	伊田 登喜三郎
副会長	武井 美親・中原 誠・中里 健寿 島村 健・齋藤 公志郎・小川 貢三郎
主な事業	・将来の担い手確保・育成対策の推進 ・経営の安定化対策の推進 ・担い手3法の徹底と入札・契約制度改革への対応 ・働き方改革への対応 ・生産性及び技術力の向上 など

一般社団法人埼玉県電業協会

開催日	5月28日 16時00分から
場所	ホテルブリランテ武蔵野
役員	非改選
会長	岡村 一巳
副会長	山口 裕・熊田 弘信 古小高 収・川合 昭
主な事業	・就労支援・技術育成事業 ・災害対策・環境保全事業 ・調査研究事業 ・人材育成・企業合理化事業 ・技術向上・安全対策事業 など

一般社団法人埼玉県造園業協会

開催日	5月23日 15時00分から
場所	ラフレさいたま
役員	非改選
会長	渡邊 進
副会長	阪上 清之介・今井 正一 西山 敏治
主な事業	・緑化事業の推進及び緑化意識の普及啓発事業 ・造園技術の維持向上などのための研修事業 ・関係団体との連携及び表彰推薦事業 ・受託事業 など

埼玉県電気工事工業組合

開催日	5月24日 16時10分から
場所	埼玉電気会館5階 大会議室
役員	改選
理事長	沼尻 芳治
副理事長	加藤 宗一・藤田 征夫 値賀 信彦
主な事業	・組合組織及び組合運営の革新的なビジョンの策定 ・予算の効率的な執行及び自己資本比率40%台の維持 ・電気事故防止の推進、電気保安及び安全・安心の確保 ・認定職業訓練校の運営充実等、電気工事情品質及び技術の向上 など

一般社団法人日本塗装工業会埼玉県支部

開催日	4月11日 16時から
場所	ラフレさいたま
役員	非改選
支部長	松尾 康司
副支部長	宮前 護・遊馬 久治 西浦 建貴
主な事業	・本部の長期方針・重点施策・事業計画に準拠した事業の推進 ・本部、関東ブロックの諸会議、委員会事業への積極的参加 ・定時総会・支部役員会の定時開催 ・講習会・研修会の開催 ・ボランティア活動の実施 など

埼玉県型枠工事業協会

開催日	3月7日 14時から
場所	埼玉建産連研修センター 103会議室
役員	非改選
会長	白戸 修
副会長	小山 義一 堀江 弘道
主な事業	・定例会議「七代会」の開催 6回開催 技能検定受験者の講習指導 ・技術革新及び新資材導入の調査研究 ・親睦会 ・若者指導 など

一般社団法人埼玉県測量設計業協会

開催日	5月14日 14時から
場所	ラフレさいたま
役員	非改選
会長	細沼 英一
副会長	及川 修 笠原 俊也
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「測量の日」記念行事(チャリティゴルフ等) ・県主催「県民の日」記念行事への協力(11/14測量イベント) ・機関紙「測量 & 設計」(71号の発行) ・国、県、市予算に対する要望活動と県幹部職員との意見交換会の開催 など

一般社団法人埼玉建築士会

開催日	6月12日 15時00分から
場所	TKPガーデンシティPREMIUM大宮
役員	非改選
会長	江口 満志
副会長	黒須 弘年・丸岡 庸一郎 佐藤 彰宏
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・建築士登録・閲覧事業 ・建築士制度普及啓発事業 ・調査研究事業(委員会・見学会他) ・知識及び技術向上のための講習会事業 ・1級、2級及び木造建築士試験実施事業など

建設業労働災害防止協会埼玉県支部

開催日	5月24日 14時30分から
場所	埼玉建産連研修センター 大ホール
役員	改選
支部長	島村 健
副支部長	斎藤 恵介 関根 勇治
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「建設業労働災害防止規程」をはじめ、安全衛生意識向上のための広報・啓発事業 ・「安全行動推進運動 埼玉」の実施及び労働災害防止大会の開催 ・労働安全衛生法に基づく作業主任者技能講習の実施 ・安全指導者等による現場安全パトロールの実施 など

一般社団法人埼玉県設備設計事務所協会

開催日	5月21日 16時30分から
場所	さいたま共済会館
役員	非改選
会長	金子 和巳
副会長	栗木 薫・藤原 克彦 小野 正幸
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・設計監理業務に関する調査研究 ・設備設計事務所の秩序保持施策実施 ・設備設計に関する省エネ、防災等の技術研究及び県民への普及啓発、設備設計技術講習会への講師派遣 ・関係官庁、内外関係団体との連携 ・担い手確保・育成 など

埼玉県地質調査業協会

開催日	5月21日 16時30分から
場所	浦和ワシントンホテル
役員	改選
会長	越智 勝行
副会長	関口 彰伸
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の多角的研修を進め、会員の技術能力の増進を図る ・官公庁に対し地質調査業者(特に会員)の育成を要望する ・地質調査の確保、拡大のための陳情活動を展開する ・地質調査の中立的視点から社会資本のtotalcost縮減のため貢献する など

埼玉アスファルト合材協会

開催日	5月15日 11時から
場所	ロイヤルパインズホテル浦和
役員	非改選
理事長	島村 健
副理事長	小川 貢三郎
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト混合物に関する製造技術・施工技術の調査研究と技術見学会開催 ・アスファルト合材に関する埼玉県県土整備部との連絡会議(第38回)開催 ・全体会・勉強会開催(会員の資質向上・技術の研鑽 他) ・南関東アスファルト合材協会連絡協議会の一員として広域的に活動する(担当役職:会長) など

一般社団法人さいたま市建設業協会

開催日	5月29日 10時30分から
場所	浦和ロイヤルパインズホテル
役員	非改選
会長	斎藤 恵介
副会長	片山 金次郎・高橋 正雄 首藤 和彦・松永 大祐
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市の諸事業に対し積極的に協力する ・会員相互の技術の向上に努める ・協会の資質向上とイメージアップ ・安全と環境保全に対する意識啓発 ・各種委員会活動の充実(8委員会) など

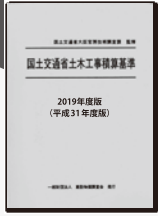
NPO法人埼玉県建設発生土リサイクル協会

開催日	5月29日 15時30分から
場所	ラフレさいたま
役員	非改選
理事長	戸高 康之
副理事長	小沢 正康 佐藤 孝治
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会構築事業 ・改良土の研究、開発、普及促進事業 ・自然環境破壊防止活動事業 ・建設発生土受入先の情報提供事業 など

埼玉県下水道施設維持管理協会

開催日	6月20日 16時00分から
場所	茨城県北茨城
役員	改選
会長	小山 昇
副会長	大村 相基 町田 隆治
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・埼玉県下水道局・(公財)埼玉県下水道公社への要望活動 ・研修会 など

国土交通省
土木工事積算基準が
改定されました



国土交通省公表の
土木工事積算基準を網羅

11,000円+税 | 2019年5月発行

正確な積算は最新基準の利用から

2019年度版(平成31年度版)
国土交通省
土木工事積算基準

改定
概要

- ▶ **i-Constructionの貫徹**
 - ・現場管理費の改定 ・ICT積算基準の新設
- ▶ **働き方改革に取り組める環境整備**
 - ・週休2日に取り組む際の必要経費の計上
- ▶ **品確法を踏まえた積算基準の改定**
 - ・間接工事費の施工地域補正の適用工種拡大
 - ・熱中症対策に資する現場管理費補正の導入等
 - ・被災地域における間接工事費の補正係数(継続)

土木工事標準歩掛の改定

■ 新規制定

- 1工種 ① 法面工(仮設用モルタル吹付工)
- 維持修繕に関する歩掛の改定(適用範囲の拡大)
- 3工種
 - ① 構造物補修工(ひび割れ補修工) [充てん工法]
 - ② 構造物補修工(ひび割れ補修工) [低圧注入工法]
 - ③ 構造物補修工(断面修復工) [左官工法]

■ 日当たり施工量、労務、資機材等の
変動により改定を行った工種

- 9工種
 - ① 軟弱地盤処理工(スラリー攪拌工)
 - ② 函渠工(大型プレキャストボックスカルバート工)
 - ③ 場所打杭工(全回転式オールケーシング工)
 - ④ 場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
 - ⑤ 敷鉄板設置・撤去工
 - ⑥ 路面切削工(切削オーバーレイ工)
 - ⑦ トンネル工(NATM) [免破工法]
 - ⑧ トンネル工(NATM) [機械掘削工法]
 - ⑨ 小断面トンネル工(NATM)

施工パッケージの改定

■ 日当たり施工量、労務、
資機材等の改定

- 17工種
 - ① 土工
 - ② 土工(ICT)
 - ③ 吹付のり面とりこわし工
 - ④ 排水構造物工
 - ⑤ コンクリート削孔工
 - ⑥ 搬運機
 - ⑦ 土工(砂防)
 - ⑧ 路盤工
 - ⑨ 路盤工(ICT)
 - ⑩ アスファルト舗装工
 - ⑪ 排水性アスファルト舗装工
 - ⑫ 立入り防止構工
 - ⑬ 路側工(掘付け)
 - ⑭ 道路付属物設置工
 - ⑮ 舗装版破砕工
 - ⑯ 側溝清掃工(人力清掃工)
 - ⑰ 畜産整備工

~諸経費率を工種・金額階層ごとに収録した早見表の決定版~
改訂 20版

国土交通省土木工事積算基準による
諸経費率早見表

諸経費計算システム付 | 7,000円+税 | 2019年7月発行

Point

平成31年度 国土交通省土木工事積算基準における
間接工事費の改定に対応

- 現場管理費の改定
- 間接工事費の施工地域補正の適用工種拡大

直接工事費や諸条件に応じた
諸経費・総工事費等を
簡単に算出!!

諸経費計算システムダウンロード権付

国土交通省土木工事積算基準 + 農林水産省土地改良工事積算基準 対応

2019年度版
(平成31年度版)

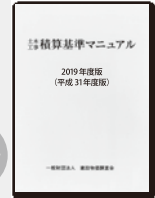
積算事例が豊富な解説書!

土木工事積算基準マニュアル

本体 11,200円+税

- 平成31年度土木工事積算基準改定事項に準拠
- 工種別に具体的な積算事例を収録し、積算手順をわかりやすく解説
- 施工パッケージ型積算方式における積算単価の算定方式(補正式)を積算事例で解説

2019年
8月発行
予定



一般財団法人 建設物価調査会
(株)建設物価サービス 販売部 [販売業務代行]

電話でのお問い合わせ
03-3663-8711

パソコンからのお申込み
建設物価 Book Store 検索

第41回「埼玉の建設産業」 ポスター・絵画コンクール 作品大募集!

■テーマ

- 小学生のみなさん・・・絵画
「空に伸びるビル」「地中深く進む水道管」「はたらくクレーンやパワーショベル」「屋内外の配線」「街路樹の植栽」などの工事現場風景やそこで働く人たち、「美しい街並や公園の景色」、「住んでみたい未来の町」などを画用紙いっぱい描いてください。
- 中学生のみなさん・・・絵画・ポスター
建設産業（土木、建築、測量、造園、建設機械など）についての重要性や魅力を強調した想像性あふれる絵画、または、「建設産業の重要性や魅力」をアピールする文字や標語などを入れたポスターを描いてください。

※車などに書いてある企業名・ロゴは書き入れないでください。

■サイズ 四ツ切(390×540mm程度)か六ツ切(310×420mm程度)画用紙、縦書き横書き自由です。

■描画材料 画材は自由(クレヨン・パス類、水彩絵具、油彩絵具、ポスターカラーなど)です。

■応募資格 埼玉県内の小学生・中学生 1人1点まで

■応募方法

- 学校ごとに応募作品をまとめて、別紙の応募者一覧表を添えて、当連合会までご送付下さい。
- ※応募者が20名を超える場合は、コピーしてご使用ください。
- 当連合会のホームページにある応募票に必要事項を記入し、作品の裏面に貼り付けてください。

■締切期日 2019年10月1日(火)(必着)

■表彰

小・中学校別に金賞、銀賞、銅賞を選び、該当作品の中から優秀賞として、埼玉県知事賞・埼玉県教育賞・さいたま市教育長賞・当連合会会長賞・審査員賞を選びます。

また、賞状及び記念品は、表彰式または郵送で贈呈する予定です。

優秀賞： 賞状と1万円相当の記念品	(小・中学生の部から各賞各1作品)
金賞： 賞状と5千円相当の記念品	(小・中学生合わせて7作品程度)
銀賞： 賞状と3千円相当の記念品	(小・中学生合わせて20作品程度)
銅賞： 賞状と1千円相当の記念品	(小・中学生合わせて30作品程度)

入賞作
カレン
なりま



去年の優秀作品
【小学生の部】



【中学生の部】



様式のダウンロード、昨年の入賞作品はこちらから!

ホームページ: <http://www.sfcc.or.jp>

お問い合わせ先: 一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 事務局 電話番号: 048-866-4301
主催: 一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 後援: 埼玉県 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会

連合会日誌

編集後記



—告示98号の再改訂を—

国土交通省は1月、建築設計・工事監理などの業務報酬基準を新たに告示98号として導入しました。しかし、中小企業が主として受注する床面積3,000㎡以下の業務量（報酬）が減ったのです。

全国建産連「働き方改革検討会（建築部会）」では、日本全体から現状や意見を徴集して、働き方改革に対する国への要望について議論しています。上記の事は、建築施工者の適切な施工にも影響があり、設計という建築の入り口でのこの問題は、旧3Kから新3Kに脱却しようとする改革の腰を折りがねません。単なる設計業界だけでなく建築業界全体の問題でもあると議論されています。

改正品確法が施工され、適切に実行しなければなりません。そのためには、

—告示98号の再改訂— 建産連として強く要望して参ります。

広報委員長

今年は梅雨寒の気候が続き農作物にも影響が出ていますが、本誌がお手元に届く頃には、梅雨も明けてまた暑い夏になっていることでしょう。埼玉県内では、熊谷市を始め40℃を超えることでしょう。工場現場で働く方々の健康も心配です。

私たちコンクリートの業界では、35℃問題というのがあります。工場を出るとき35℃以下のコンクリートも運搬中や現場に着いて打設を待つ間に温度が上がって、35℃を越えると、打設不可となって持ち帰ることになります。現場での作業も中止になってしまいます。

工場では、色んな対策を施していますが、切り札は有りません。

38℃までは、品質的に問題が無いことがデータの裏付けられてきて、建築学会も38℃まで容認する動きが出ていますがまだ決定されていません。昨年はいくつかの工事現場では、協議によって受け取って頂いたこともあります。ということで、目をさますと、今日の気温は何℃まで上がるのだろうかという日々が今年も続くことでしょう。

広報副委員長

平成31年

4月10日(水) 新年度県庁ご挨拶

4月23日(火) 広報委員会

4月24日(水) (社)全国建産連 監査

令和元年

5月9日(木) 監事監査

5月10日(金) (社)全国建産連「働き方改革検討会」土木検討部会

5月14日(火) (社)埼玉県測量設計業協会定時総会懇親会

5月20日(月) ドローン体験研修会

～21日(火)

5月21日(火) (社)埼玉県建設業協会定時総会懇親会

同日 埼玉県地質調査業協会通常総会懇親会

5月23日(木) (社)埼玉県造園業協会定時総会懇親会

5月24日(金) 理事会

同日 (社)埼玉県空調衛生設備協会定時総会懇親会

同日 建設業労働災害防止協会埼玉県支部代議員会

同日 (社)全国建産連「働き方改革検討会」建築検討部会

5月27日(月) 新入社員研修

～28日(火)

5月28日(火) (社)全国建産連 理事会

同日 (社)埼玉県電業協会定時総会懇親会

6月5日(水) (社)全国建産連「働き方改革検討会」土木検討部会

6月6日(木) 埼玉建築設計監理協会定時総会懇親会

6月12日(水) (社)埼玉建築士会通常総会懇親会

6月13日(木) (社)埼玉県建築士事務所協会定時総会懇親会

6月19日(水) 2019年度通常総会

6月24日(月) (社)全国建産連 定時総会

建産連会館の夏期休館について

建産連事務局

館内整備の為下記の期間全館休館します

8月13日(火)～16日(金)

一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 会員名簿（順不同）

〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋4-1-7建産連合会館1階
 一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会
 会 長 古郡 一成

電 話 048-866-4301
 F A X 048-866-9111
 U R L <http://www.sfcc.or.jp/>

（2019年 6月19日現在）

構成団体名	代表者	〒	所在地	電話番号	F A X
一般社団法人 埼玉県建設業協会	会 長 伊田登喜三郎	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(861)5111	048(861)5376
一般社団法人 埼玉県電業協会	会 長 岡村 一巳	〃	〃	048(864)0385	048(864)0327
一般社団法人 埼玉県造園業協会	会 長 渡邊 進	〃	〃	048(864)6921	048(861)9641
東日本建設業保証株式会社埼玉支店	支店長 佐藤 佳延	330-0063	さいたま市浦和高砂4-3-15 K・Sビル5階	048(861)8885	0120(027)336
埼玉県電気工事工業組合	理事長 沼尻 芳治	331-0813	さいたま市北区植竹町1-820-6埼玉電気会館2階	048(663)0242	048(663)0298
一般社団法人 埼玉県空調衛生設備協会	会 長 飯沼 章	338-0002	さいたま市中央区下落合4-8-10	048(855)4111	048(853)0676
一般社団法人 日本塗装工業会埼玉県支部	支部長 松尾 康司	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(866)4381	048(866)4382
埼玉県型枠工事業協会	会 長 白戸 修	〃	〃	048(862)9258	048(862)9275
一般社団法人 埼玉建築士会	会 長 江口 満志	〃	〃	048(861)8221	048(864)8706
一般社団法人 埼玉県建築士事務所協会	会 長 栗田 政明	〃	〃	048(864)9313	048(864)9381
一般社団法人 埼玉建築設計監理協会	会 長 田中 芳樹	〃	〃	048(861)2304	048(863)2495
一般社団法人 埼玉県測量設計業協会	会 長 細沼 英一	〃	〃	048(866)1773	048(864)3055
建設業労働災害防止協会埼玉県支部	支部長 島村 健	〃	〃	048(862)2542	048(862)9764
埼玉県コンクリート製品協同組合	理事長 森繁 和哲	362-0014	上尾市本町1-5-20	048(773)8171	048(773)8175
埼玉県下水道施設維持管理協会	会 長 小山 昇	330-0061	さいたま市浦和区常盤9-5-8 トキワビル 武蔵野環境整備株 内	048(831)9667	048(822)7510
一般財団法人 埼玉県建築安全協会	理事長 桑子 喬	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(865)0391	048(845)6720
埼玉県建設業健康保険組合	理事長 星野 博之	〃	〃	048(864)9731	048(838)9490
埼玉県地質調査業協会	会 長 越智 勝行	〃	〃	048(862)8221	048(866)6067
埼玉県生コンクリート工業組合	理事長 根岸 俊介	336-0017	さいたま市南区南浦和3-17-5	048(882)7993	048(883)3500
一般社団法人 埼玉県設備設計事務所協会	会 長 金子 和巳	330-0063	さいたま市浦和高砂3-10-4	048(864)1429	048(866)5385
埼玉アスファルト合材協会	理事長 島村 健	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(838)5636	048(816)9415

賛助会員

一般社団法人 さいたま市建設業協会	会 長 斎藤 恵介	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(863)3203	048(863)1794
特定非営利活動法人 埼玉県建設発生土リサイクル協会	理事長 戸高 康之	336-0031	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048(839)2900	048(839)2901

埼玉建産連研修センター 研修・会議にご利用ください



【所在地】さいたま市南区鹿手袋4-1-7

【電話】048-861-4311

【ホームページ】<http://www.sfcc.or.jp/>

【メール】k-center@sfcc.or.jp

【会館時間】午前9時～午後5時(月～金)

※どなたでもご利用いただけます

武蔵浦和駅東口から花と緑の散歩道(遊歩道)を歩き、約10分で到着します。

埼玉建産連研修センター簡易料金表

会議室名称		料金区分		午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	全日 9:00～17:00
		最大収容人員				
3階	大ホール	椅子席のみ	390人	¥41,500	¥46,500	¥62,500
		机席 3人掛	270人			
		(2人掛)	180人			
2階	200会議室	机席 3人掛	153人	¥28,000	¥35,000	¥45,000
	201会議室	机席 3人掛	99人	¥15,500	¥17,500	¥23,000
	202会議室	机席 3人掛	45人	¥8,000	¥9,000	¥12,500
	203会議室	コの字3人掛	15人	¥4,000	¥4,500	¥6,000
1階	101会議室	机席 3人掛	104人	¥17,500	¥19,500	¥25,500
	102会議室	コの字3人掛	15人	¥3,500	¥4,000	¥5,500
	103会議室	机席 3人掛	61人	¥11,500	¥12,500	¥16,500
	特別会議室	口の字	24人	¥11,000	¥12,500	¥16,000

『建産連ニュース』データ版ご利用の際のご注意

建産連ニュースのデータ版については、以下の事項をご了解の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。また、当ファイルを閲覧・ダウンロードされる際には、この条項にご了解いただいたものとみなします。

(1) 著作権について

『建産連ニュース』の著作権は、一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会に帰属します。無断での転用・転載を禁じます。

(2) 免責事項

『建産連ニュース』内掲載の記事・広告は、発行当時のものであり、現在の状況とは差違が生じている部分がございますので、ご注意ください。

なお、記載内容に関連し、ご利用者の故意・錯誤により生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いかねます。

(3) 配布について

この『建産連ニュース』データ版は、無料で配布しておりますが、著作権者の許可無くしての二次利用・再配布を禁止いたします。

なお、本ページは著作者情報となります。このページを削除することを禁じます。

(4) お問い合わせ

その他、記事内容・ご利用方法について、疑問・質問等がございましたら、下記の当連合会事務局までお問い合わせください。

○お問い合わせ

一般社団法人埼玉県建設産業団体連合会
事務局

電話 048-866-4301

E-mail somu@sfcc.or.jp

URL <http://www.sfcc.or.jp/>

平成24年4月